

2014

OSAKA
UNIVERSITY
PROFILE

大阪大学プロフィール 2014





適塾から

From Tekijuku

世界 適塾へ

To the World Tekijuku



2014年は、大阪大学の世界適塾元年。

176年前、緒方洪庵が開いた適塾の精神を、21世紀の大阪大学へと継承し、

2031年の創立100周年には、

世界トップ10 の世界適塾として輝きます。

基本理念

物事の本質
を見極める
教育研究

国際社会に
通用する
人材育成

世界規模の
研究者交流

学問による
調和ある
多様性の
創造

人類社会の
福祉と進歩に
貢献

1838...1931...1945...2031

学問による 調和ある多様性の創造

大阪大学は学問の府として、物事の本質を究める研究を行なうとともに、何が物事の本質であるかを見極める能力を持った人材を育成してきました。

21世紀の大学に求められる役割の一つとして、調和ある多様性の創造が挙げられます。世界には人種、言語、慣習、文化、芸術、宗教などの様々な多様性が存在します。一方、グローバル化が進む国際社会では、多様性は時として紛争の原因やコミュニケーションの妨げになることがあります。21世紀のグローバル社会においては、多様性を維持しながら、多様性が生み出す障壁を乗り越えることが人類の発展にとって益々重要になると言えます。

大学は学問という人類共通言語を有しています。学問は芸術やスポーツなどと並んで、障壁を乗り越える大きな力を持っています。学問を通して交流することにより、多様性の維持と多様性が生み出す障壁の克服という、相反する二つの両立が可能となります。大学は豊かな人類社会の発展に欠かせない「学問による調和ある多様性の創造」により、グローバル社会に大きく貢献できるはずです。そして大学こそが未来の原泉であり、未来を創り出す力そのものです。

大阪大学は、21世紀のグローバル社会において「世界適塾」として貢献し、調和ある多様性から生まれる心豊かで平和な社会の実現に向けて邁進していきます。

2014年7月

大阪大学総長



02 2014...2031...2101...



・QS World Ranking 2013:

世界
トップレベルの
研究と学問

55位

7位
免疫学

33位

44位
複合領域

欧州センター
(グローニンゲンオフィス)

207
244

1,618
475

43
23

東アジアセンター
(上海オフィス)

大阪大学
UC/UCEAP Osaka Office

32
29

ASEANセンター
(バンコクオフィス)

10
18

外国人留学生数

2,012人
105カ国

部局間学術
交流協定数

464件
65カ国

- 外国人留学生数
- 外国人研究者受入数
- 大阪大学の海外拠点
- 部局の海外拠点
- 国際ジョイントラボの
外国人研究者所属機関

Worldwide N

World Ranking

in Thomson Reuters Journal Citation
by Disciplines in September,
2013 (in 22 categories)

16位 化学

20位 材料科学

31位 物理学

生物学・生化学

43位 分子生物学・遺伝学

64位 微生物学

北米センター
(サンフランシスコオフィス)

43
59

59
12

地域に生き
世界に伸びる
グローバル
ユニバーシティ

外国人研究者受入数

860人
71カ国

大学間学術
交流協定数

99件
29カ国

INDEX

特集

世界適塾コンセプト・総長メッセージ	1
Worldwide Network	3
The focused Data	5
大阪大学未来戦略	7
世界トップ10に向けた部局マネジメント 及び人材育成・獲得支援策	8

沿革

クローズアップ 濃い!阪大史	11
----------------	----

受賞

受賞等	13
-----	----

組織・学内施設等

組織図	15
歴代総長・運営体制・役員・総長補佐 ・理事補佐・経営協議会学外委員	17
学部	18
大学院	19
附置研究所・全国共同利用施設	21
学内共同教育研究施設	22
学内組織等	23
附属図書館・附属病院	24
大阪大学会館他・海外拠点	25
福利厚生施設等	26
寄附講座・共同研究講座・協働研究所	27

統計

職員数	29
学生数	30
入学者数	31
卒業者数・進路・学位授与者数	32

国際交流

海外留学人数・外国人留学生数 ・外国人研究者数	33
学術交流協定状況	35

予算

予算	37
外部資金等	38

教育・研究プログラム

各種教育研究プログラム(補助金等)	39
-------------------	----

キャンパス・アクセス

キャンパスマップ等・アクセス	43
広域マップ・東京オフィス	46

Network

The Focused Data



組織

p.21~25

11 学部 10 研究科

(文、人間科、外国語(学部のみ)、法、経済、理、医、歯、薬、工、基礎工)

6

大学院独立研究科

(言語文化、国際公共政策、情報科学、生命機能、高等司法、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学)

5

附置研究所

(微生物病、産業科学、蛋白質、社会経済、接合科学)

3

全国共同利用施設

(核物理研究センター、サイバーメディアセンター、レーザーエネルギー学研究センター)

18

学内共同教育研究施設

(国際教育交流センター等)

4

附属図書館

(総合図書館、生命科学図書館、理工学図書館、外国学図書館)

2

附属病院

(医学部、歯学部)

世界トップレベル研究拠点

(免疫学フロンティア研究センター)

未来戦略機構

全学教育推進機構 等



教職員数 ※()内女性数

p.29

3,171_人
教員 (426)

3,111_人
教員以外の職員 (1,895)

6,282_人
計 (2,321)

3,653_人
非常勤職員等
(平成26年5月1日現在)



学部学生数 ※()内女性数

p.30

3,255_人
入学定員

15,524_人 (5,004)
在学生
(平成26年5月1日現在)



大学院学生数 ※()内女性数

p.30

2,089_人
入学定員:修士

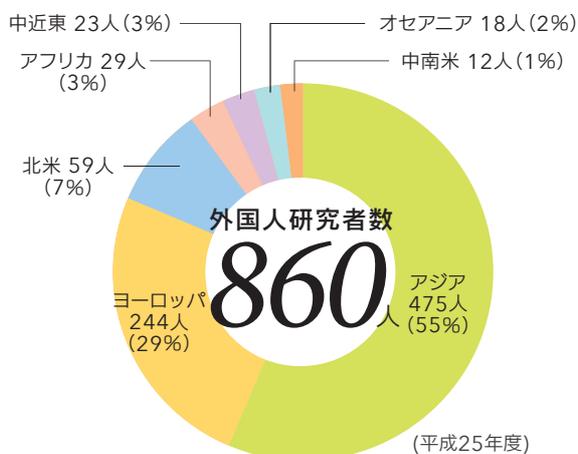
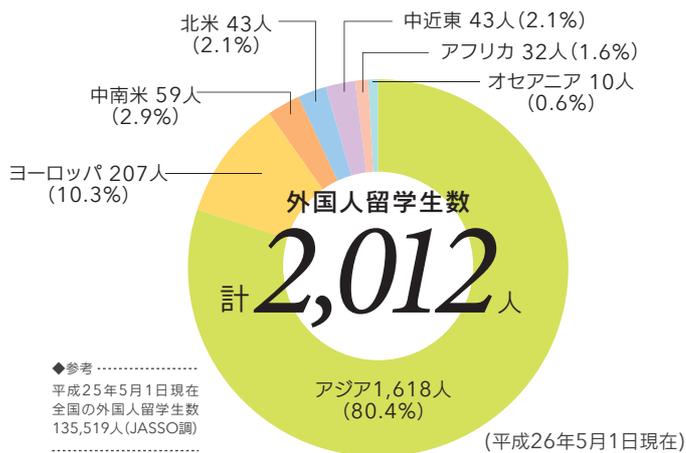
942_人
入学定員:博士

80_人
入学定員:法科大学院

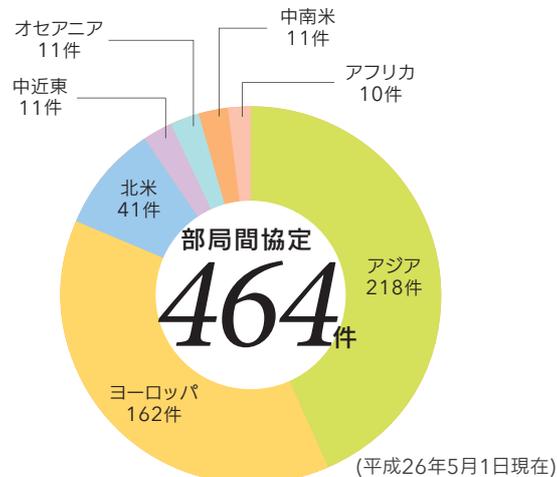
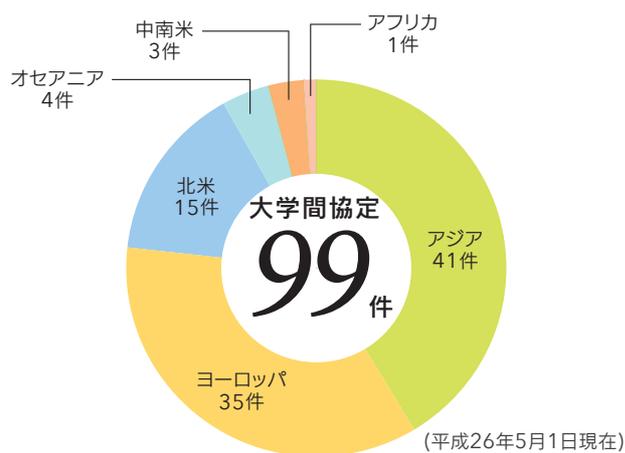
7,905_人 (2,163)
在学生
(平成26年5月1日現在)



外国人留学生・研究者数 p.33~34



学術交流協定状況 p.35~36



キャンパス p.43~45

997,071.32 m²

吹田地区 (本部事務機構、人間科、医、歯、薬、工、各附置研究所等)

445,851.08 m²

豊中地区 (図書館、文、法、経済、理、基礎工等)

140,400.04 m²

箕面地区 (外国語学部等)

1,000 m²

中之島地区 (中之島センター)

東京オフィス



予算規模 p.37

収入 151,826 百万円

支出 151,826 百万円
(平成26年度)



国際的な賞の受賞 p.13~14

1名

ノーベル賞

1名

ラスカー賞

1名

ガードナー国際賞

2名

ウルフ賞

2名

クラフォード賞

2名

日本国際賞

未来戦略

22世紀に輝く

調和ある多様性の創造

大阪大学が22世紀においても輝き続けるために策定した「未来のための戦略シナリオ」の骨子です。

過去～現在～未来へと大阪大学をつないでいくために、全力を挙げて一つひとつを実行に移し、未来における大阪大学の基盤を以下の8つの方針に基づき確固たるものにしていきます。

1. 大阪大学未来戦略機構の創設

2. 本質を究め未来を創造する研究

3. 世界に通用する人を育む教育

4. 世界が大阪大学を目指す国際戦略

5. 豊かな社会を生み出す産学連携

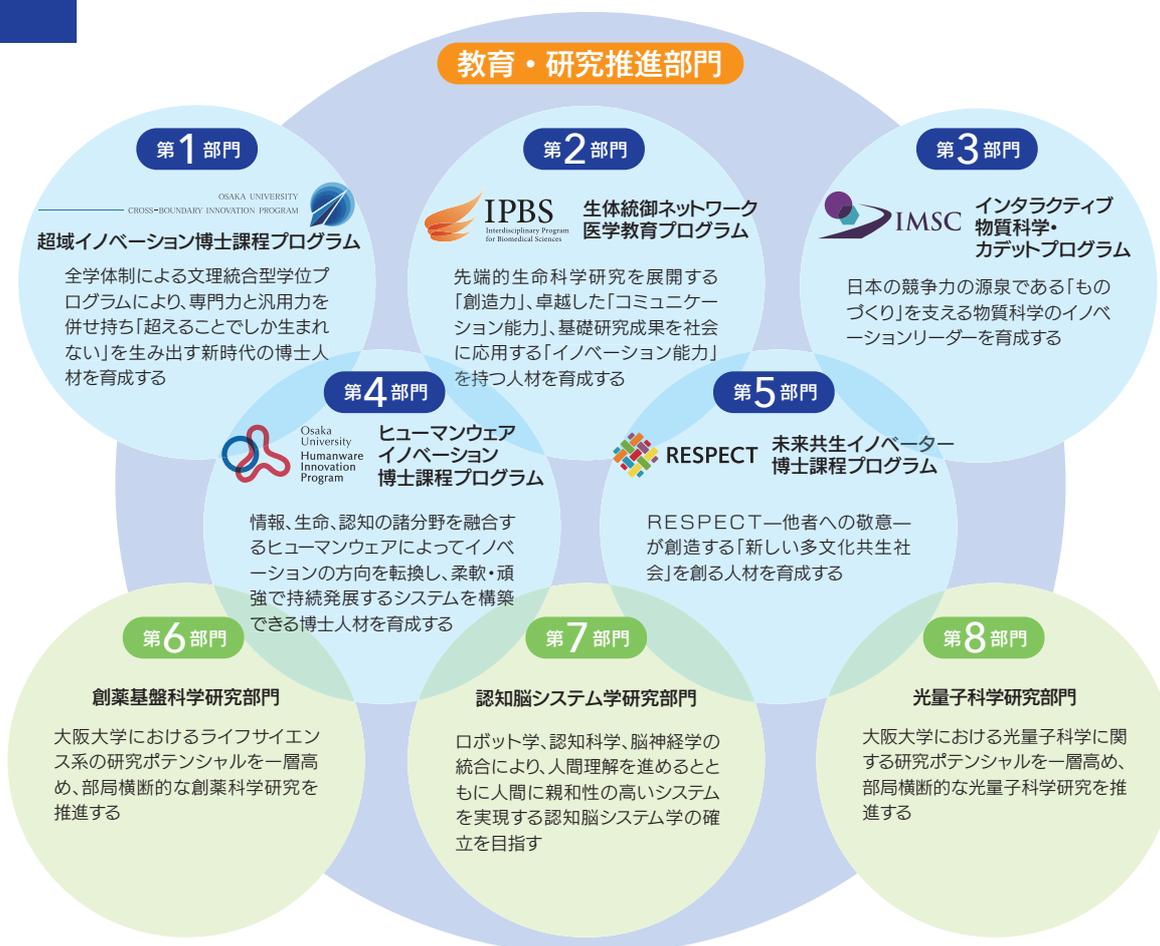
6. 大学と人と地域が交流する社学連携

7. 質と倫理を兼ね備えた大学病院

8. 教育と研究の基盤を支える大学運営

大阪大学 未来戦略 機構

未来戦略機構の特徴は、部局縦割りの教育研究と管理運営を排し、部局や教員が連携協力して学際的・融合的な取り組みが機動的に推進できるよう、総長のトップマネジメントの下で大阪大学の特筆分野にさらに磨きをかけ、総力を挙げて大学システムを革新させる「大学の中の大学」プロジェクトです。



“世界トップ10”に向けた 部局マネジメント及び人材育成・獲得支援策

卓越した 外部人材の 招致

【大阪大学特別教授制度】▶詳細次ページ

【年俸制、クロス・アポイントメント制度】▶詳細次ページ

【グローバル化推進教授招へいプログラム】

目的：教員の多様化並びに国際化、学部・大学院学生教育のグローバル化の推進を支援するため

概要：国際的に評価されている外国の研究型大学のPh.Dを取得し、世界トップレベルの優れた業績をあげている研究者を大阪大学教授として新たに雇用する場合に教育研究経費を交付

【外国人教員等採用促進プログラム】

目的：学部・大学院における研究・教育のグローバル化を推進するため

概要：部局が優れた業績をあげている外国人研究者等を大阪大学専任教員として雇用する場合に研究教育整備費を交付

【学内財源配分の見直し等】

目的：基礎研究の推進や人材育成など、大阪大学の将来の発展に有効活用することを目指すとともに、

「基礎研究→応用研究→社会への還元→基礎研究」の未来志向のサイクルを確立するため

概要：間接経費、寄附金、産学官連携推進活動経費及び附属病院経費といった財源の配分を再構築

その一環として、間接経費については、間接経費を獲得した研究者に獲得額の20%相当額が配分できるようにすることで、競争的研究資金の獲得を全学的に推進及び、施設老朽化対策として、保有面積に対する一定額を本部に留保

【研究者に対する報奨制度の拡充】

目的：科学研究費補助金（以下、「科研費」と表記）等の競争的資金による研究の活性化を図るため

概要：科研費などの競争的資金を新たに獲得した研究者や、多額の間接経費を獲得した研究者を報奨するため、新たに大阪大学総長顕彰により表彰し、報奨金を支給

【大阪大学未来知創造プログラム】

目的：本学の将来を支える多様な研究を育み、創造性に富み、チャレンジングで独創的なアイデアと未来を拓く人材を輩出するため

概要：異なる研究分野の若手研究者の連携による共同研究に対し研究費を支援

【大阪大学未来研究イニシアティブ・グループ支援プログラム】

目的：大阪大学ならではの基礎研究の推進や、国家的課題解決に向けた研究にイニシアティブを発揮するため

概要：部局横断的な提案や新たな研究分野の創出の芽を育てる提案に対し研究費を支援

【科研費チャレンジ支援プログラム】

目的：大型の競争的資金へのチャレンジを支援するため

概要：科研費の「基盤研究C」「若手研究B」に応募している研究者の上位研究種目への挑戦を支援

【科研費相談員制度】

目的：科研費の採択率の向上を図るため

概要：科研費へ初めて応募、上位種目等に挑戦する研究者に対し、研究計画調書作成等をアドバイス

【大阪大学特別教授制度(再掲)】【年俸制、クロス・アポイントメント制度(再掲)】

【国際共同研究促進プログラム】▶詳細次ページ

【学生の海外派遣、受け入れ支援】

目的：教育の国際化に向けた取組を加速するため

概要：留学、海外研修等に積極的に参加できるよう学生に経済的支援を行う

また、学生の海外派遣及び留学生の受け入れを積極的に行う部局に対しても経費を支援

目標値：日本人学生と留学生が互いの文化を理解し切磋琢磨する環境（グローバルキャンパス）の実現へ2020年までの目標値を設定

・海外に送り出す日本人学生… 4%→8%

・海外からやってくる留学生… 留学生全体 8%→15%

— 学部生(正規及び短期留学生) 4%→10%

— 大学院生(正規及び短期留学生) 15%→25%

【若手研究者の海外派遣、受け入れ支援】

目的：若手研究者による国際共同研究の機会を増加させることにより優れた研究成果を創出し、大阪大学の研究力強化を図るため

概要：大阪大学の若手研究者による、今後の展開が期待できる海外派遣・受け入れ計画に対し、旅費・滞在費を支援

【大阪大学国際合同会議(シンポジウム)助成】【大阪大学部局主催シンポジウム等開催支援】

目的：高度な研究を展開している外国の研究機関と大阪大学の研究者による国際合同会議(シンポジウム)や、本学における学術研究

の成果、研究者の活動を広く海外への発信を支援することにより、大阪大学の研究における更なる国際展開を促進するため

概要：国際合同会議(シンポジウム)実施に係る経費、本学部局が(原則として国外で)主催する国際シンポジウム等開催に係る経費を支援

【研究成果の国際的発信支援プログラム:英語論文の投稿支援】

目的：若手研究者・女性研究者を対象に、海外の学術誌への英語論文の投稿を支援することにより、研究成果の国際的発信力を一層

高め、大阪大学の研究力の強化を促進するため

概要：大型教育研究プロジェクト支援室のリサーチ・アドミニストレータ(URA)による個々の研究者に適した学術英文校正等の支援

【部局長裁量未来戦略ポストの配分】

目的：部局の優れたマネジメントを全学的に応援し、各部局等の教育研究レベルを一層高めていくことを目指す

概要：大阪大学の未来戦略実現のため、積極的なマネジメントを行っている部局に対して、部局長裁量ポストを配分

【部局長未来戦略裁量経費の配分】【事務(部)長未来戦略裁量経費の配分】

目的：部局の優れたマネジメントを全学的に応援し、大学全体に相乗効果が生まれることを目指す

概要：大阪大学の未来戦略実現のため、積極的なマネジメントを行い、優れた成果をあげつつある部局や部局の事務部等に対して、裁量経費を配分

グローバル化 の強化推進

部局 マネジメント の充実

● 大阪大学特別教授

阪大が誇る世界を牽引する教育研究者

大阪大学は、学問を介して「調和ある多様性」を創造するという理念のもと、創立100周年を迎える2031年に「世界適塾」として世界トップ10に入ることを目指しています。

その一つの方策として、卓越した業績を有し、先導的な役割を担う教授に対し、その貢献を讃えるとともに、その活動をサポートすることにより、本学の国際的競争力のある世界的拠点となることを目指すため、「大阪大学特別教授制度」を平成25年4月に創設しました。

平成26年7月までに以下の13名に特別教授の称号を授与しました。

審良 静男	免疫学フロンティア研究センター・教授	西尾 章治郎	大学院情報科学研究科・教授
功績：「自然免疫に関する教育研究業績」		功績：「情報科学に関する教育研究業績」	
石黒 浩	大学院基礎工学研究科・教授	濱田 博司	大学院生命機能研究科・教授
功績：「人と関わるロボットの研究開発に関する教育研究業績」		功績：「発生生物学に関する教育研究業績」	
大竹 文雄	社会経済研究所・教授	原田 明	大学院理学研究科・教授
功績：「労働経済学、公共経済学に関する教育研究業績」		功績：「高分子化学に関する教育研究業績」	
河田 聡	大学院工学研究科・教授	福住 俊一	大学院工学研究科・教授
功績：「ナノフォトニクスに関する教育研究業績」		功績：「機能物質化学に関する教育研究業績」	
北岡 良雄	大学院基礎工学研究科・教授	三浦 雅博	大学院工学研究科・教授
功績：「物性物理学に関する教育研究業績」		功績：「有機合成化学に関する教育研究業績」	
坂口 志文	免疫学フロンティア研究センター・教授	吉森 保	大学院生命機能研究科・教授
功績：「制御性T細胞による免疫応答制御に関する教育研究業績」		功績：「細胞生物学、特にオートファジーに関する教育研究業績」	
難波 啓一	大学院生命機能研究科・教授		
功績：「生体超分子の立体構造と機能の解明に関する教育研究業績」			

● 「未来戦略」に向けた

人事・給与システム柔軟化の本格始動

大阪大学は、2031年に創立100周年を迎え、世界のトップ10に入る研究型総合大学を目指し、大学改革を積極的に推進しています。その一つの方策として、「大阪大学未来戦略」の「教育と研究の基盤を支える大学運営」の中で掲げる「柔軟な人事制度の構築」を具現化する新たな人事制度として年俸制とクロス・アポイントメント制度を導入しています。

世界的に活躍する研究者を迎える

■年俸制

国際的に優れた研究者をロシア科学アカデミーより未来戦略機構・教授として迎え、国際的な拠点を目指している大阪大学の光量子科学研究拠点形成を進めます。

大阪大学と別の機関の双方で活躍が可能

■クロス・アポイントメント制度

かねてより共同研究が行われてきた理化学研究所と本学核物理研究センターが、「クロス・アポイントメント制度」に基づく協定を締結し、常勤の研究者を本学に迎え、両機関が今まで以上に緊密に連携していくことで、研究の飛躍的な発展が見込まれます。

<協定概要> ©対象機関 理化学研究所 仁科加速器研究センター
大阪大学 核物理研究センター

国際共同研究促進プログラム

最先端の研究を展開している外国人研究者と 大阪大学の研究者との共同研究を支援

大阪大学の未来戦略の一環として、本学における研究力の強化及びグローバル化の促進を行うために、最先端の研究を展開している外国人研究者と本学の研究者との共同研究を支援するプログラムです。

本プログラムは、国際共同研究室（国際ジョイントラボ）設立の第一陣と位置付けられるとともに、招へい研究者によるセミナーや講義への参加を通して、今後の本学のグローバル化を推進する上で中心的な役割を担っていくことになります。

■平成25年度採択プログラム/15件

宇宙論的視点で追う巨大ブラックホールの生成と進化	
研究代表者	理学研究科・教授 長峯 健太郎
招へい研究者	ケンタッキー大学/物理・天文学科/教授 Isaac Shlosman
高齢双生児レジストリを用いた遺伝と環境要因が健康に及ぼす影響の国際比較研究～健康長寿社会構築のエビデンス形成～	
研究代表者	医学系研究科保健学専攻/附属ソニリサーチセンター/教授 早川和生
招へい研究者	ヘルシンキ大学/Dept. of Social Research/ Acting Professor Karri Tapani Silventoinen
口腔顎顔面の発育発達様式の解明	
研究代表者	歯学研究科・准教授 村上 秀明
招へい研究者	コペンハーゲン大学/三次元頭蓋顔面画像研究所/ 所長・教授 Sven Kreiborg
他者の中に自己をみつけるロボット —同調・脱同調に応じた意識ダイナミクスの構成論的理解—	
研究代表者	工学研究科・教授 浅田 稔
招へい研究者	カリフォルニア工科大学/Division of Biology/ 教授 Shinsuke Shimojo
海洋再生可能エネルギーの吸収効率向上と装置の実用化に関する総合工学的研究	
研究代表者	工学研究科・教授 柏木 正
招へい研究者	ナント中央理工科大学/ 流体・エネルギー・大気環境研究所/ 教授・所長 Pierre Ferrant
光・量子ビーム技術による高エネルギー密度物質探査に関する日仏連携研究	
研究代表者	工学研究科・教授 兒玉 了祐
招へい研究者	フランス国立科学研究センターエコールポリテクニク/レーザー中央研究施設(LULI)/ 研究ディレクター Michel Koenig
個々の原子の元素同定法の開発	
研究代表者	工学研究科・准教授 杉本 宣昭
招へい研究者	チェコ科学アカデミー/ Institute of Physics/Group leader/ Pavel Jelinek
固体表面の精密官能基化によるシングルサイト不均一触媒の創出	
研究代表者	基礎工学研究科・教授 眞島 和志
招へい研究者	スイス連邦工科大学チューリッヒ校/化学科/ 教授 Christophe Copéret
ソフトウェアライセンスの履歴分析技術の共同開発	
研究代表者	情報科学研究科・教授 井上 克郎
招へい研究者	ヴィクトリア大学/Department of Computer Science/ 准教授/Daniel Morales German
大規模神経活動計測技術と計算論的手法の融合によるアクティブビジョンの神経機構の解明	
研究代表者	生命機能研究科・教授 藤田 一郎
招へい研究者	ユーリッヒ総合研究機構/神経科学医学研究所 (INM-6) / 副所長・アーヘン工科大学/ 教授 Sonja Grün
トランスポーター制御による細菌恒常性維持機構の解明と新規治療戦略の開発	
研究代表者	産業科学研究科・准教授 西野 邦彦
招へい研究者	香港大学/School of Biological Sciences/ Assistant Professor / Aixian Yan
モデル細胞による効率的な水素生産に向けた光合成エネルギー変換システムの構造基盤解明	
研究代表者	蛋白質研究所・教授 栗栖 源嗣
招へい研究者	ルール大学ボーフム/ Faculty for Biology and Biotechnology/ 教授 Thomas Happe

ゲノム不安定化を抑制するエピゲノム、染色体ダイナミクスの分子メカニズム	
研究代表者	蛋白質研究所・教授 篠原 彰
招へい研究者	フリードリヒ・ミーシャー研究所/ 所長 Susan Margaret Gasser
最先端経済理論研究と制度設計への応用	
研究代表者	社会経済研究所・教授 芹澤 成弘
招へい研究者	インド統計大学/Economics and Planning Unit/ 准教授/Debasis Mishra
高密度超冷中性子による時間反転対称性の検証	
研究代表者	核物理研究センター・教授 畑中 吉治
招へい研究者	カナダ国立素粒子原子核物理研究所/Science Division Senior Research Scientist, Particle Physics Group Leader/Akira Konaka

■平成26年度採択プログラム/7件

超高齢期高齢者のサクセスフルエイジングを支援する介護福祉サービスの開発に向けた認知科学的・老年社会学的研究	
研究代表者	人間科学研究科・教授 寺坂 満里子
招へい研究者	カリフォルニア州立大学/Department of Psychology/ 教授 Hideya Koshino エルスタ・シエンダール大学/ Institute of Civil Society/ 教授 Victor Pestoff フォードダム大学/Department of Psychology/ 准教授 Daniela Jopp
人文科学における日仏研究交流拠点の形成 —思想・教育・臨床を中心として—	
研究代表者	人間科学研究科・教授 榎垣 立哉
招へい研究者	パリ第10大学 西ナンテール/哲学科/ 教授 Anne Sauvagnargues
患者・市民の参加による医学研究のガバナンス構築のための基盤づくり	
研究代表者	医学系研究科・教授 加藤 和人
招へい研究者	オックスフォード大学/Centre for Health, Law and Emerging Technologies (HeLEX), Nuffield Department of Population Health/ 所長 Jane Kaye
ファンクショナル・フォトニクス：ナノ光機能の探索と学術展開	
研究代表者	工学研究科・教授 河田 聡
招へい研究者	モロッコ先端科学イノベーション研究機関(MASclR)/ The Optics & Photonics Center/ センター長 Sekkat Zouheir
有機半導体材料の特異的電子機能発現と本質的特性評価法による機能追求	
研究代表者	工学研究科・教授 関 修平
招へい研究者	ワシントン大学/ Department of Chemical Engineering/ 教授 Samson A. Jenekhe
アジア太平洋地域の平和と安定：国際行動規範形成のための重層的分析	
研究代表者	言語文化研究科・教授 杉田 米行
招へい研究者	フィンランド国際問題研究所/グローバル安全保障リサーチプログラム / 上級リサーチフェロー Bart Gaens ジョージメイソン大学/公共国際関係/Clarence Robinson Professor of International Studies John Pade ノースウェスタン大学/歴史学部/ 教授 Laura Hein ヨーロッパ日本研究所/ 所長 Marie Söderberg
不妊関連遺伝子のノックアウトマウス作製とその機能解析	
研究代表者	微生物病研究所・教授 伊川 正人
招へい研究者	バイエル医科大学/病理免疫学教室/ 教授 Martin M. Matzuk

クローズアップ 濃いっ! 阪大史

～大阪大学の原点～ 適塾

<史跡・重要文化財>

1838年に緒方洪庵が現在の大阪・北浜に開設した蘭学塾。西洋の進んだ医学、病理学などの学問を教える一方、当時流行した天然痘やコレラなどの治療にあたりとともに、医療の普及と向上に努めた。医師であり優れた教育者でもあった洪庵の下で学んだ塾生は、のちに明治の近代化の原動力となった。福沢諭吉、長与専斎、大村益次郎、橋本左内、大島圭介など多くの逸材を輩出した。建物は江戸時代の蘭学塾の遺構として、1941年に史跡、1964年に重要文化財に指定された。



緒方洪庵



適塾外観



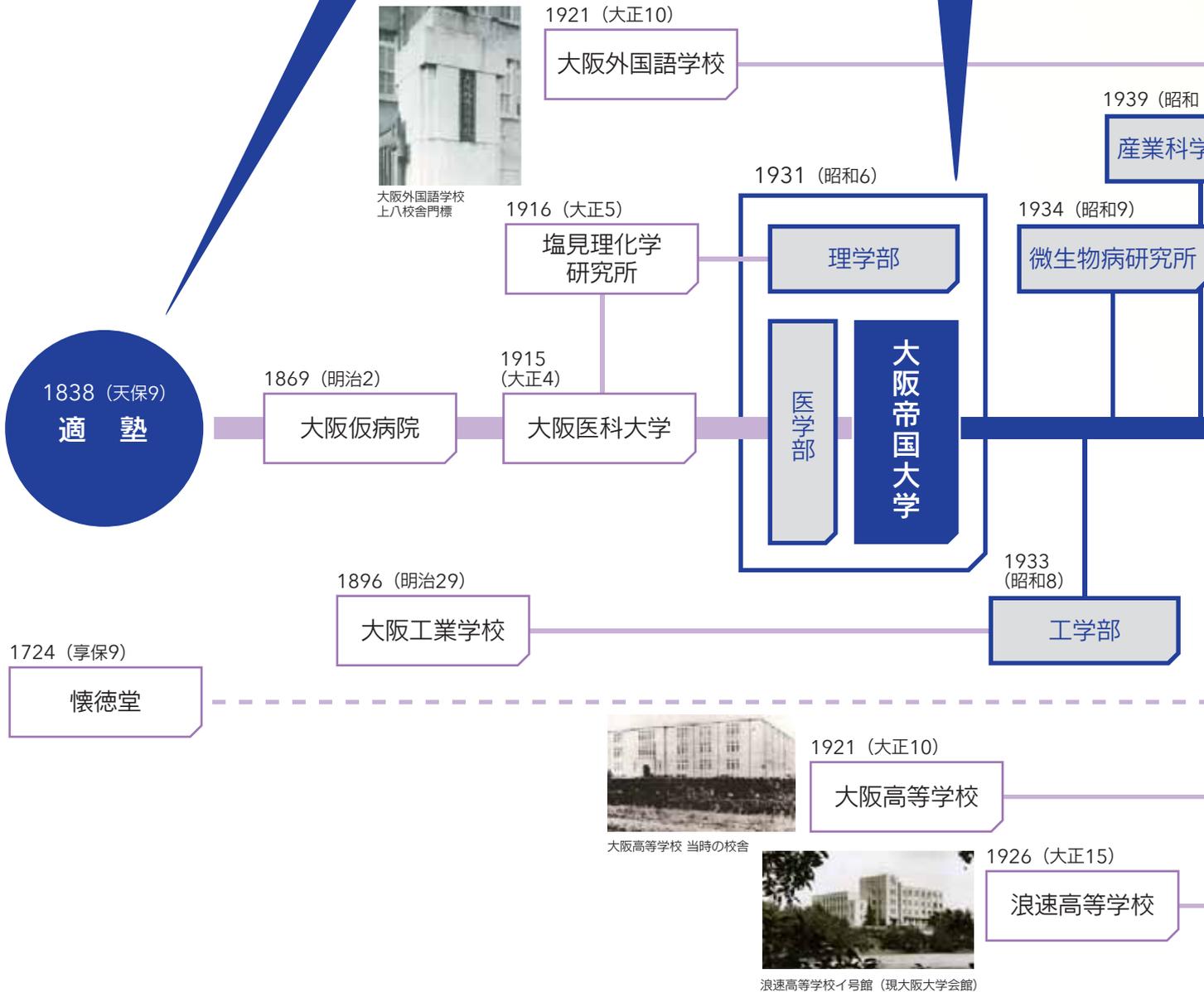
大広間と中庭

大阪帝国大学の 創設

適塾の流れを汲む府立大阪医科大学を母体に、1931年に医学部と理学部からなる大阪帝国大学として設立された。「大阪にも帝国大学を」と、大阪の政官、経済界がこぞって国に強く働きかけ、市民や有志も設立のための寄付や支援を行い創設に至ったという歴史をもつ。「地元大阪と市民の力によってつくられた大学」という特色を有している。初代総長の長岡半太郎は東大、京大をも凌ぐ大学を目指し、新進気鋭の俊英らを全国から集めた。のちに講師として迎えられた湯川秀樹もその一人。



長岡半太郎初代総長



1838 (天保9)
適塾

1869 (明治2)

大阪仮病院

1915 (大正4)

大阪医科大学

1916 (大正5)

塩見理化学
研究所

1931 (昭和6)



1934 (昭和9)

微生物病研究所

1939 (昭和14)

産業科学

1933 (昭和8)

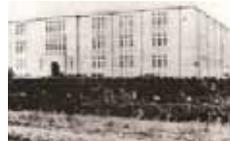
工学部

1724 (享保9)

懐徳堂

1896 (明治29)

大阪工業学校



大阪高等学校 当時の校舎

1921 (大正10)

大阪高等学校



浪速高等学校イ号館 (現大阪大学会館)

1926 (大正15)

浪速高等学校

大阪外国語大学と統合

2007年10月1日、大阪大学と大阪外国語大学が統合して、新たな大阪大学が誕生しました。

大阪外国語大学は、1921(大正10)年に、大阪上本町の地に大阪外国語学校として創立され、以後、外国語教育・研究の西の雄として大きく発展するとともに、司馬遼太郎などの著名な卒業生を輩出してきました。大阪外国語学校の設立には、大阪の実業家・林蝶子女史の「大阪に国際人を育てる学校を」という熱意と篤志の下、私財を政府に寄附して実現したという経緯があります。その点で大阪帝国大学の設立と極めて似通ったいきさつがあります。両大学が統合して北摂の地に3つのキャンパスを持つ日本有数の国立大学が誕生しました。



箕面キャンパス

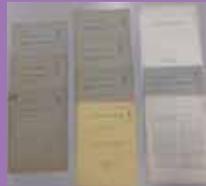
トピックス2014

湯川秀樹博士の黒板、大阪大学へ寄贈

湯川秀樹博士が大阪帝国大学理学部で講師、助教授として研究生活を送った6年間(1933-1939)は、博士自身にとっても日本の物理学にとっても非常に大きな時期でした。中間子論の研究成果を学会で発表したのが1934年の秋のこと、学会誌に論文が掲載されたのが翌年、また中間子論の論文10編をまとめて大阪大学に提出し、理学博士の学位を取得したのが1938年と、短期間に大きな研究成果を挙げられました。この時期に書き上げた論文が1949年のノーベル物理学賞の受賞へとつながりました。



2014年2月に米国コロンビア大学から譲り受けた黒板。湯川博士はコロンビア大学客員教授時代にこの黒板を居室で使用していました。
※写真は5月13日の黒板披露式での南部陽一郎特別荣誉教授



2014年5月に阪大図書館で見つかった湯川博士の学位論文「素粒子の相互作用について」(主論文)他。

マチカネワニ発見から50年

1964年5月3日、豊中キャンパスの理学部新校舎建設中の工事現場で二人の青年が骨の一部の化石を発見しました。専門家が掘り進むにつれ、全身骨格が現れました。その化石は40～50万年前のワニ(のちにマチカネワニと命名される)の骨であることが判明し、考古学上の大発見となりました。マチカネワニは日本で発見されたワニ類の骨格化石の第1号であり、ワニ化石の全身骨格としては世界的にも貴重な化石です。



頭骨化石を発掘する専門家チーム



大阪大学総合学術博物館に展示されている。2014年国の登録記念物に。

1949 (昭和24)

大阪外国語大学

14)

学研究所

2007
(平成19)

外国語学部

1949 (昭和24)

大阪大学
(新制)

文学部

法経学部

(1953年(昭和28)
法学部と経済学部に分離)

2004 (平成16)

国立大学法人
大阪大学

2014

2031
創立
100周年

1948 (昭和23)

法文学部

教育・研究組織の拡充

- 1951 (昭和26) 歯学部
- 1955 (昭和30) 薬学部
- 1958 (昭和33) 蛋白質研究所
- 1961 (昭和36) 基礎工学部
- 1966 (昭和41) 社会経済研究所
- 1972 (昭和47) 人間科学部
- 1972 (昭和47) 溶接工学研究所
- (1996年(平成8) 接合科学研究所に改称)
- 1989 (平成元) 言語文化研究科
- 1994 (平成6) 国際公共政策研究科
- 2002 (平成14) 情報科学研究科
- 2002 (平成14) 生命機能研究科
- 2004 (平成16) 高等司法研究科
- 2009 (平成21) 連合小児発達学研究科

受賞等

国際賞

- ノーベル賞(1名)
- ラスカー賞(1名)
- ガードナー国際賞(1名)
- ウルフ賞(2名)
- クラフォード賞(2名)
- 日本国際賞(2名)



Nobel Prize

湯川 秀樹

受賞対象研究、研究分野等
物理学賞「中間子の存在を理論的に予言」

受賞年 1949



Wolf Prize

Wolf Foundation · אגודת וולף

早石 修

受賞対象研究、研究分野等
医学部門「酸素添加酵素(オキシゲナーゼ)の発見とその構造・生化学的重要性の解析」

受賞年 1986

佐藤 幹夫

受賞対象研究、研究分野等
数学部門「代数解析学の創始、「超関数と超局所関数の理論、ホロノミック量子場理論、ソリトン方程式の統一理論を含む代数解析学の創始」

受賞年 2002-2003



Lasker Award

花房 秀三郎

受賞対象研究、研究分野等
基礎医学研究賞「RNA腫瘍ウイルスによる発癌機構およびウイルスゲノム内に存在する癌遺伝子の役割に関する研究」

受賞年 1982



Crafoord Prize

岸本 忠三 / 平野 俊夫

受賞対象研究、研究分野等
インターロイキンの発見、それらの特性決定と炎症性疾患における役割の探求

受賞年 2009



Japan Prize

岸本 忠三 / 平野 俊夫

受賞対象研究、研究分野等
生命科学・医学分野
「インターロイキン6の発見から疾患治療への応用」への貢献に対して

受賞年 2011



Gairdner International Award

審良 静男

受賞対象研究、研究分野等
自然免疫の中核を担うたんぱく質の発見

受賞年 2011

国内賞

文化勲賞(19名) 文化功労者(33名) 恩賜賞・日本学士院賞(17名) 日本学士院賞(45名) 紫綬褒章(74名)

文化勲章	氏名	受賞対象研究、研究分野等	受賞年	氏名	受賞対象研究、研究分野等	受賞年	氏名	受賞対象研究、研究分野等	受賞年
	長岡 半太郎	物理学	1937	仁田 勇	結晶化学	1966	今井 功	流体力学	1988
湯川 秀樹	原子物理学	1943	正田 建次郎	数学	1969	花房 秀三郎	細胞生物学・分子腫瘍学	1995	
岡部 金治郎	電気工学	1944	安井 琢磨	近代経済学	1971	岸本 忠三	免疫学	1998	
眞島 利行	化学	1949	早石 修	生化学	1972	豊島 久真男	ウイルス学・腫瘍学	2001	
菊池 正士	原子物理学	1951	森嶋 通夫	理論経済学	1976	荒田 吉明	高温工学・溶接工学	2006	
八木 秀次	電気工学	1956	小谷 正雄	分子生理学・生物物理学	1980	—	—	—	
赤堀 四郎	生物有機化学	1965	岡田 善雄	細胞遺伝学	1987	—	—	—	

文化功労者	氏名	受賞年対象研究、研究分野等	受賞年	氏名	受賞年対象研究、研究分野等	受賞年	氏名	受賞年対象研究、研究分野等	受賞年
	湯川 秀樹	物理学	1951	安井 琢磨	近代経済学	1971	荒田 吉明	高温工学・溶接工学	1995
岡部 金治郎	電気工学	1951	早石 修	生化学	1972	豊島 久真男	ウイルス学・腫瘍学	1998	
眞島 利行	化学	1951	森嶋 通夫	理論経済学	1976	熊谷 信昭	電磁波工学	1999	
菊池 正士	原子物理学	1952	小谷 正雄	分子物理学	1977	長田 重一	分子生物学・生化学	2001	
八木 秀次	電気工学	1956	今井 功	流体力学	1979	新開 陽一	マクロ経済学・国際経済学	2004	
今村 荒男	内科学	1960	岡田 善雄	細胞遺伝学	1982	松原 謙一	分子生物学・学術振興	2006	
古武 彌四郎	生化学	1961	犬養 孝	万葉集研究	1987	山崎 正和	劇作・評論	2006	
高田 保馬	社会学	1964	宮本 又次	日本経済史・日本経営史	1988	斯波 義信	東洋史学	2006	
赤堀 四郎	生物有機化学	1965	山村 雄一	内科学・免疫学・生化学	1988	川島 康生	移植外科学・医学教育・医療振興	2007	
仁田 勇	結晶化学	1966	岸本 忠三	免疫学	1990	審良 静男	免疫学	2009	
正田 建次郎	数学	1969	花房 秀三郎	細胞生物学・分子腫瘍学	1991	柳田 敏雄	生物物理学	2013	

恩賜賞 日本学士院賞	氏名	受賞年対象研究、研究分野等	受賞年	氏名	受賞年対象研究、研究分野等	受賞年
	湯川 秀樹	素粒子間の相互作用に関する理論的研究並びに宇宙線中の新素粒子Mesotronの存在に対する予言	1940	岡田 善雄	細胞融合現象の解析と細胞工学的応用	1980
	岡部 金治郎	磁電管に関する研究	1941	原 亨吉	バスカルの数学的業績	1982
	坂田 昌一	二中間子理論	1950	佐藤 了	ミクロソームの複合酵素添加酵素系に関する研究	1985
	今井 功	航空力学への寄与	1959	岸本 忠三	インターロイキン6(IL-6)に関する研究	1992
	永宮 健夫	反強磁性体の理論的研究	1963	本庶 佑	抗体クラススイッチ制御に関する研究	1996
	吉田 耕作	近代解析の研究	1967	柳田 敏雄	生物運動の分子機械の直接操作と観測	1998
	宮本 又次	小野組の研究	1971	長田 重一	アポトーシスの分子機構の研究	2000
	高崎 直道	如来蔵思想の形成	1975	審良 静男	自然免疫による病原体認識とシグナル伝達	2007
				難波 啓一	生体超分子の立体構造と機能の解明	2012

日本学士院賞	氏名	受賞対象研究、研究分野等	受賞年	氏名	受賞対象研究、研究分野等	受賞年
	眞島 利行	漆の主成分に関する研究	1917	石本 雅男	無過失損害賠償責任原因論 —ローマ法におけるCulpa levisimaの比較法学的研究—	1984
	功力 金二郎	抽象空間の研究	1939	荒田 吉明	超高エネルギー密度熱源の開発と熱加工への適用	1985
	仁田 勇	化学構造のX線研究	1943	山村 雄一	細胞性免疫とその制御	1985
	小竹 無二雄	毒物の化学的研究	1944	豊島 久真男	サルコ・ファミリーがん遺伝子の研究	1987
	小谷 正雄	磁電管の共振機構と立体回路の理論的共同研究	1948	森本 信男	鉱物の固容体形成の新機構の発見	1994
	久留 勝	脊髄後角内に於ける痛温度覚伝導に関する細胞群の決定に関する研究	1949	藤田 廣志	金属塑性変形の超高電圧電子顕微鏡 その場観察による研究	1994
	正田 建次郎	戦近の抽象代数学に於ける研究	1949	菅 宏	凝相における相変化と緩和過程	1995
	吉川 秀男	昆虫類を材料とする遺伝生化学的研究	1952	金森 順次郎	遷移金属合金の強磁性理論	1996
	中山 正	環論及び表現論に関する研究	1954	池原 森男 大塚 榮子	核酸の合成と機能に関する研究-合成ras遺伝子関連の研究を中心として	1996
	赤堀 四郎	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究	1955	熊谷 信昭	新しい電磁波論の開拓と電磁波導波伝送への応用に関する基礎的研究	1997
	千谷 利三	安定同位元素に関する研究	1956	北村 幸彦	KIT受容体を介した肥満細胞とカハール介在細胞の分化と癌化	2005
	長沢 信寿	アウグスティヌス哲学の研究	1961	又賀 昇	光励起分子の分子間相互作用と化学反応ダイナミクス研究	2006
	市原 硬 須田 正巳	二、三アミノ酸の中間代謝及びこれに関する酵素の研究	1961	大竹 文雄	日本の不平等	2008
	早石 修	酵素添加酵素の研究	1967	長谷川 晃	ファイバー中の光ソリトンの発見とプラズマ乱流の自己組織化に関する研究	2008
	奥真 一男	チクローム系の研究	1968	村井 眞二 村橋 俊一	遷移金属分子触媒による有機化合物の骨格形成法と修飾法の開拓	2010
	上尾 庄次郎	ヒガンバナの有毒塩基成分の化学的研究	1970	谷口 直之	糖鎖生物学、とくにN—結合型糖鎖の病気での重要性についての先駆的業績	2011
	神谷 宣郎	植物細胞の原形質流動及び水分生理の研究	1971	二井 将光	生物エネルギー生産(転換)機構の研究	2012
	野村 真康	リボソーム再構成に関する研究	1972	坂口 志文	制御性T細胞による免疫応答制御	2012
	川井 直人	超高圧・高温下における地球物質の実験的研究	1973			
	西山 善次	合金のマルテンサイト変態に関する研究	1973			
	久保田 尚志	植物の苦味物質に関する研究	1975			
	関 集三	固体の構造熱力学的研究	1976			
	佐藤 幹夫	超函数の理論及びその応用	1976			
	鈴木 友二	キニン系の蛋白質化学とその制御に関する研究	1979			

紫綬褒章	氏名	受章時の所属部署、出身部局	受章年	氏名	受章時の所属部署、出身部局	受章年	氏名	受章時の所属部署、出身部局	受章年
	松川 達夫	工学部	1959	小泉 光恵	産業科学研究所	1990	北村 幸彦	生命機能研究科	2001
	千谷 利三	理学部	1965	森本 信男	産業科学研究所	1990	猪木 武徳	経済学部	2002
	寺澤 一雄	工学部	1970	伊達 宗行	理学部	1991	川合 知二	産業科学研究所	2003
	藤野 恒三郎	微生物病研究所	1971	山中 千代衛	工学部	1992	高井 義美	医学部	2003
	菅田 栄治	工学部	1971	吉森 昭夫	基礎工学部	1992	武田 佐知子	大阪外国語大学	2003
	伏見 康治	理学部	1973	坪村 宏	基礎工学部	1993	齋田 清一	文学部	2004
	植松 時雄	基礎工学部	1974	藤田 廣志	工学部	1993	審良 静男	微生物病研究所	2005
	吉永 弘	工学部	1975	原 富之	理学部	1994	谷口 直之	医学部	2005
	釜洞 醇太郎	微生物病研究所	1975	又賀 昇	基礎工学部	1995	平野 俊夫	生命機能研究科	2006
	鈴木 友二	蛋白質研究所	1976	濱川 圭弘	基礎工学部	1995	原田 明	理学部	2006
	宮地 徹	医学部	1977	山根 圭己	工学部	1996	中村 敏一	医学系研究科	2006
	湯川 泰秀	産業科学研究所	1977	宮本 重徳	理学部	1996	松澤 佑次	医学部	2006
	熊谷 尚夫	経済学部	1978	村田 一郎	理学部	1996	河田 聡	工学研究科	2007
	奥野 良臣	微生物病研究所	1978	川島 康生	医学部	1997	大貫 惇睦	理学研究科	2008
	木下 和夫	経済学部	1983	園田 昇	工学部	1997	増原 宏	工学研究科	2008
	石丸 壽保	産業科学研究所	1984	松原 謙一	細胞生体工学センター	1997	中嶋 英雄	産業科学研究所	2009
	櫻井 洸	産業科学研究所	1985	森田 善一郎	工学部	1998	坂口 志文	京都大学	2009
	大澤 文夫	基礎工学部	1985	京極 好正	蛋白質研究所	1998	森田 清三	工学研究科	2011
	橋本 初次郎	工学部	1985	塩原 勉	人間科学部	1998	西尾 章治郎	情報科学研究科	2011
	池原 森男	薬学部	1986	中村 晃	理学部	1998	福住 俊一	工学研究科	2011
	曲直部 壽夫	医学部	1987	信多 純一	文学部	1999	花岡 文雄	生命機能研究科	2012
	難波 進	基礎工学部	1988	園田 孝夫	医学部	1999	北岡 良雄	基礎工学研究科	2012
	塩川 二郎	工学部	1988	山崎 正和	文学部	1999	久保 司郎	工学研究科	2012
	稲田 献一	社会経済研究所	1989	有本 卓	基礎工学部	2000	濱田 博司	生命機能研究科	2014
	三隅 二不二	人間科学部	1989	青木 保	人間科学部	2000	—	—	—

組織・ 学内施設等

大阪大学

学部

文学部	
人間科学部	
外国語学部	
法学部	
経済学部	
理学部	
医学部	<ul style="list-style-type: none"> 病院 (昭和6.5) 動物実験施設 (昭和61.4)
歯学部	<ul style="list-style-type: none"> 病院 (昭和28.8)
薬学部	<ul style="list-style-type: none"> 歯科技工士学校 (昭和35.4)
工学部	
基礎工学部	

大学院

文学研究科	
人間科学研究科	<ul style="list-style-type: none"> 比較行動実験施設 (昭和55.4)
法学研究科	<ul style="list-style-type: none"> 法政実務連携センター (平成13.4)
経済学研究科	
理学研究科	<ul style="list-style-type: none"> 構造熱科学研究センター (平成21.4) 基礎理学プロジェクト研究センター (平成23.10) 先端強磁場科学研究センター (平成26.4)
医学系研究科	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究実習センター (昭和62.5) ツインリサーチセンター (平成21.4) PET分子イメージングセンター (平成22.6) 最先端医療イノベーションセンター (平成26.4)
歯学研究科	<ul style="list-style-type: none"> 口腔科学フロンティアセンター (平成23.7)
薬学研究科	<ul style="list-style-type: none"> 薬用植物園 (昭和49.4) 実践薬学教育研究センター (平成18.4) 創薬センター (平成25.4)
工学研究科	
基礎工学研究科	<ul style="list-style-type: none"> 超精密科学研究センター (平成13.4) アトミックデザイン研究センター (平成25.4) フロンティア研究センター (平成18.4) サステイナビリティ・デザイン・オンサイト研究センター (平成19.10) 高度人材育成センター (平成20.4) 構造機能先進材料デザイン教育研究センター (平成20.4)
言語文化研究科	
国際公共政策研究科	
情報科学研究科	
生命機能研究科	<ul style="list-style-type: none"> 極限科学センター (平成26.4) 未来研究推進センター (平成26.4)
高等司法研究科	
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学 ・千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究科	<ul style="list-style-type: none"> 子どものこころの分子統御機構研究センター (平成22.4)

附置研究所

微生物病研究所	<ul style="list-style-type: none"> 感染動物実験施設 (昭和42.6) 感染症DNAチップ開発センター (平成16.4) 難治感染症対策研究センター (平成17.4) 遺伝情報実験センター (平成17.4) 感染症国際研究センター (平成17.4) 生体応答遺伝子解析センター (平成22.4)
産業科学研究所	<ul style="list-style-type: none"> 産業科学ナノテクノロジーセンター (平成14.4) 総合解析センター (平成21.4) 量子ビーム科学研究施設 (平成21.4) 産業科学連携教育推進センター (平成21.4) 国際共同研究センター (平成21.4)
蛋白質研究所	<ul style="list-style-type: none"> 蛋白質解析先端研究センター (平成24.4)
社会経済研究所	<ul style="list-style-type: none"> 行動経済学研究センター (平成16.4)
接合科学研究所	<ul style="list-style-type: none"> スマートプロセス研究センター (平成15.4)

附属図書館

総合図書館	(昭和6.5)
生命科学図書館	(平成4.4)
理工学図書館	(昭和45.10)
外国学図書館	(平成19.10)

学内共同教育研究施設

低温センター	(昭和46.4)
超高压電子顕微鏡センター	(昭和49.4)
ラジオアイソトープ総合センター	(昭和57.4)
環境安全研究管理センター	(平成16.4)
国際教育交流センター	(平成22.4)
生物工学国際交流センター	(平成7.4)
太陽エネルギー化学研究センター	(平成13.4)
総合学術博物館	(平成14.4)
保健センター	(平成16.4)
臨床医工学融合研究教育センター	(平成16.11)
コミュニケーションデザイン・センター	(平成17.4)
金融・保険教育研究センター	(平成18.4)
科学機器リノベーション・工作支援センター	(平成26.4)
グローバルコラボレーションセンター	(平成19.4)
日本語日本文化教育センター	(平成19.10)
環境イノベーションデザインセンター	(平成22.10)
ナノサイエンスデザイン教育研究センター	(平成20.12)
知的財産センター	(平成22.4)

全国共同利用施設

核物理研究センター	(昭和46.4)
サイバーメディアセンター	(平成12.4)
レーザーエネルギー学研究センター	(平成16.4)

世界トップレベル研究拠点

免疫学フロンティア研究センター	(平成19.10)
-----------------	-----------

融合研究拠点

大阪大学・情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター	(平成25.4)
----------------------------	----------

学内組織

未来戦略機構	(平成23.12)
全学教育推進機構	(平成24.4)
産学連携本部	(平成23.4)
教育学習支援センター	(平成25.6)
21世紀懐徳堂	(平成20.4)
適塾記念センター	(平成23.4)
安全衛生管理部	(平成16.4)
環境・エネルギー管理部	(平成23.6)
キャンパスライフ支援センター	(平成25.6)

海外拠点

北米センター	(平成26.4)
欧州センター	(平成26.4)
ASEANセンター	(平成26.4)
東アジアセンター	(平成26.4)

中之島センター	(平成16.4)
---------	----------

本部事務機構

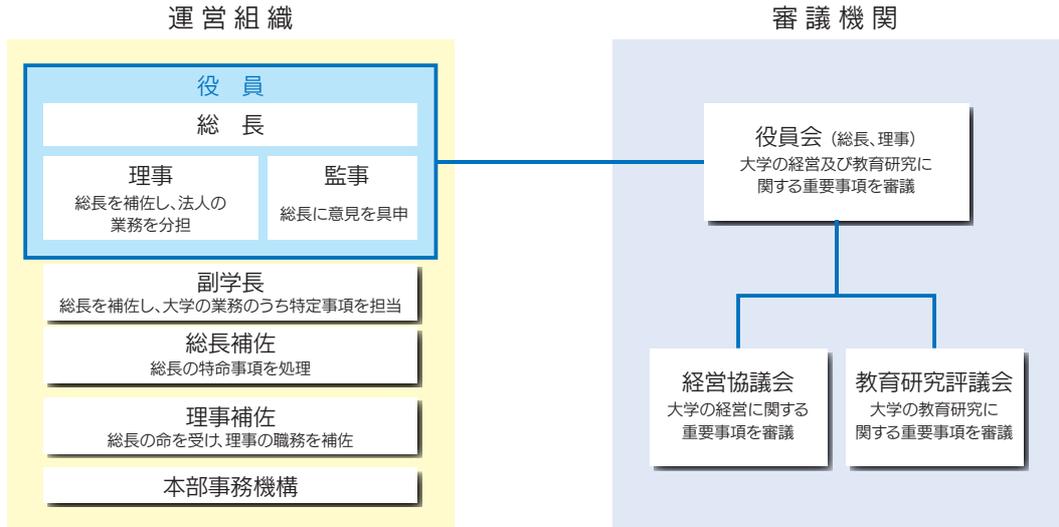
歴代総長

初代総長	長岡 半太郎	昭和 6年 5月 1日就任
2代総長	楠本 長三郎	9年 6月22日就任
3代総長	真島 利行	18年 2月 3日就任
4代総長	八木 秀次	21年 2月 2日就任
5代総長	今村 荒男	21年12月28日就任
6代総長	正田 建次郎	29年12月28日就任
7代総長	赤堀 四郎	35年12月17日就任
8代総長	岡田 實	41年12月17日就任
9代総長	釜洞 醇太郎	44年 8月26日就任

10代総長	若槻 哲雄	昭和50年 8月26日就任
11代総長	山村 雄一	54年 8月26日就任
12代総長	熊谷 信昭	60年 8月26日就任
13代総長	金森 順次郎	平成 3年 8月26日就任
14代総長	岸本 忠三	9年 8月26日就任
15代総長	宮原 秀夫	15年 8月26日就任
16代総長	鷲田 清一	19年 8月26日就任
現 総長	平野 俊夫	23年 8月26日就任

運営体制

(平成26年5月1日現在)



役員・総長補佐・理事補佐

(平成26年5月1日現在)

総長	理事・副学長	監事	副学長	総長補佐	理事補佐	
平野 俊夫	恵比須 繁之 東島 清 馬場 章夫 相本 三郎 大竹 文雄 岡村 康行	関 順一郎 内藤 欣也	池田 雅夫 金倉 譲 下田 正 永田 靖 星野 俊也	瀧原 圭子 岩谷 良則	池 道彦 小川 哲生 沖田 知子 尾崎 雅則 尾上 孝雄 川端 亮 北岡 良雄 近藤 勝義 進藤 修一 高木 淳一	茶園 成樹 堂目 卓生 西田 幸二 野口 眞三郎 深瀬 浩一 三成 賢次 南埜 宜俊 村上 伸也 山根 聡 山本 達司
理事	大木 高仁					

経営協議会 学外委員

(平成26年5月1日現在)

氏名	現職	氏名	現職
相澤 益男	独立行政法人科学技術振興機構 顧問	佐藤 行雄	公益財団法人日本国際問題研究所 副会長
井上 礼之	ダイキン工業株式会社 代表取締役会長兼CEO	角 和夫	阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長
上山 隆大	慶應義塾大学総合政策学部 教授	手代木 功	塩野義製薬株式会社 代表取締役社長
岡本 囀衛	日本生命保険相互会社 代表取締役会長	友野 宏	新日鐵住金株式会社 代表取締役副会長
尾崎 裕	大阪ガス株式会社 代表取締役社長	南部 真知子	株式会社神戸クレーザー 会長
川島 康生	独立行政法人国立循環器病研究センター 名誉総長	野路 國夫	株式会社小松製作所 代表取締役会長
小林 栄三	伊藤忠商事株式会社 取締役会長	渡辺 克信	朝日放送株式会社 特別顧問

学部

学部	学科	学科目
文学部	人文学科	人文基礎学、歴史文化学、地域文化学、言語基礎学、文学表現学、芸術文化学
人間科学部	人間科学科	行動学、社会学、教育学、グローバル人間学
外国語学部	外国語学科	中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、デンマーク語、スウェーデン語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、日本語
法学部	法学科	公法学、私法学、国際関係法学、基礎法学、政治学
	国際公共政策学科	グローバル法学、グローバルガバナンス、グローバルエコノミー
経済学部	経済・経営学科	理論経済、経済政策、経済史・経営史、日本経済、企業経済・会計、マネジメント・サイエンス、経営情報
理学部	数学科	数学
	物理学科	物理学、宇宙地球科学
	化学科	化学、高分子学
	生物科学科	生物科学
医学部	医学科	解剖学、生理学、薬理学、病態情報内科学、生化学・分子生物学、ゲノム生物学、分子制御内科学、加齢医学、感染症・免疫学、病理学、分子病態内科学、皮膚科学、生体情報医学、神経機能医学、小児発達医学、生体機能調節医学、機能制御外科学、病態制御外科学、器官制御外科学、神経機能制御外科学、感覚器外科学、社会医学
	保健学科	基礎看護学、母性・小児看護学、成人・老人看護学、地域看護学、医用物理学、医用工学、基礎生体情報学、病態生体情報学
歯学部	歯学科	口腔形態情報学、口腔機能生理学、口腔分子生化学、口腔分子薬理学、口腔病理病態学、口腔微生物学、口腔医用工学、口腔予防保健学、口腔感染免疫治療学、口腔機能再建補綴学、口腔病態外科学、顎顔面発育制御学、小児歯科保健学、顎口腔麻酔学、顎口腔放射線学
薬学部	薬学科	医療・生命薬学
	薬科学科	分子・有機科学、生命・情報薬学
工学部	応用自然科学科	応用化学、応用生物工学、精密科学、応用物理学
	応用理工学科	機械工学、マテリアル生産科学
	電子情報工学科	電気電子工学、情報通信工学
	環境・エネルギー工学科	環境・エネルギー工学
	地球総合工学科	船舶海洋工学、社会基盤工学、建築工学
基礎工学部	電子物理科学科	エレクトロニクス、物性物理科学
	化学応用科学科	合成化学、化学工学
	システム科学科	機械科学、知能システム学、生物工学
	情報科学科	計算機科学、ソフトウェア科学、数理科学

○ 一 学内他部局との協力講座
● 一 学外研究機関との連携講座(分野)

研究科	専攻	講座等	学位名
文学研究科	文化形態論	広域文化形態論、哲学、日本学、日本史、世界史、考古学、人文地理学	修士(文学) 博士(文学)
	文化表現論	広域文化表現論、国文学・東洋文学、西洋文学・語学、日本語学、芸術学、芸術史	
	文化動態論	共生文明論、アート・メディア論、文学環境論、言語生態論	修士(文学)
人間科学研究科	人間科学	先端人間科学、人間行動学、行動生態学、社会環境学、基礎人間科学、臨床教育学、教育環境	修士(人間科学) 博士(人間科学)
	グローバル人間学	人間開発学、地域研究	
法学研究科	法学・政治学	総合企画法政、比較法政、公共法政、●地域開発、●政策研究	修士(法学) 博士(法学)
経済学研究科	経済学	理論分析、政策分析、歴史分析、応用経済、○数理経済学、○計量経済学、○市場システム、●産官学プロジェクト	修士 (経済学、応用経済学、経営学)
	経営学系	モデル解析、経営情報、技術経営、ビジネス	博士 (経済学、応用経済学、経営学)
理学研究科	数学	代数学、幾何学、解析学、大域数理学、実験数学、応用数理学、●統合数理科学	
	物理学	物性物理学、素粒子・核物理学、基礎物理学、量子物理学、学際物理学、○素粒子・核反応学、○クォーク核物理学、○加速計測学、○極限科学、○先端光科学、●先端物理学	
	化学	無機化学、物理化学、有機化学、学際化学、○機能物質合成化学、○無機化合物機能学、○生体分子構造学、●高機能材料物性学、●機能ペプチド学	修士(理学) 博士(理学)
	生物科学	分子細胞生物学、細胞生物学、適応生物学、相関生物学、生物物質学、○蛋白質機能学、○細胞情報制御学、●細胞機能構造学、●生命誌学、●生物分子情報学	
	高分子科学	高分子合成・反応化学、高分子構造・物性・機能論、高分子凝集系科学、○情報高分子科学	
	宇宙地球科学	宇宙惑星進化学、自然物質学、極限物質学	
医学系研究科	医学	解剖学、生理学、生化学・分子生物学、病理学、薬理学、医用工学、社会医学、感染症・免疫学、ゲノム生物学、健康スポーツ科学、内科学、情報統合医学、放射線統合医学、外科学、生体統御医学、器官制御外科学、脳神経感覚器外科学、○情報機能医学、○治療情報学、○生体防御医学、○健康増進医学、○感染制御医学、●発生・再生医学、●病態制御基礎医学、●加齢機構学、●免疫アレルギー医学、●免疫・感染制御学、●循環微小画像医学、●細胞認識機構学、●腫瘍感染免疫学、●分子イメージング解析学、●循環制御医学、●腫瘍医学、●医薬品医療機器評価学、●エイズ先端医療学 ●感染症疫学	博士(医学)
	医科学	-	修士 (医科学、公衆衛生学)
	保健学	看護実践開発科学、生命育成看護科学、総合ヘルスプロモーション科学、機能診断科学、医用物理工学、生体情報科学、●分子イメージング学、●血栓症診断学、●先進医療・臨床試験科学、●粒子線治療学、●画像誘導放射線治療学、●多職種チーム医療に基づくがん看護学	修士 (保健学、看護学) 博士 (保健学、看護学)
歯学研究科	口腔科学	顎口腔病因病態制御学、顎口腔機能再建学、高次脳口腔機能学、口腔分子感染制御学、口腔分子免疫制御学、口腔分化発育情報学、○顎口腔病態検査治療学、○療護歯科保健学、●頭蓋顎顔面発生発育機構学、●次世代口腔医療創薬開発科学	博士(歯学)
薬学研究科	創成薬学	医薬品創製化学、生命分子薬科学、環境衛生薬学、○薬用資源学、○細胞生物学、○創薬科学、●医薬基盤科学	修士(薬科学) 博士(薬科学)
	医療薬学	臨床薬物治療科学、生命医療薬物科学、医薬品情報科学、○実践薬学、○伝統医薬解析学、●分子生理病態学、●環境病因病態学、●薬事戦略講座、●レギュラトリーサイエンス講座	博士(薬学)
工学研究科	生命先端工学	物質生命工学、生物工学、○生体分子機能科学、○応用微生物学、○分子微生物学	
	応用化学	分子創成化学、物質機能化学、○分子素子化学、○励起反応化学、○環境化学、○量子分子工学、○複合材料工学	修士(工学) 博士(工学)
	精密科学・応用物理学	精密科学、応用物理学、○量子デバイス工学、○超伝導フォトニックデバイス	
	知能・機能創成工学	先導の融合工学	

○ 学内他部局との協力講座
● 学外研究機関との連携講座(分野)

研究科	専攻	講座等	学位名
工学研究科	機械工学	複合メカニクス、マイクロ機械科学、知能機械学、統合デザイン工学、 ○熱・量子加工プロセス学、○複合化機構学	修士(工学) 博士(工学)
	マテリアル生産科学	材料物性学、材料エネルギー理工学、構造機能制御学、材料機能化プロセス工学、生産プロセス、 構造化デザイン、システムインテグレーション、○材料機能物性研究、○金属材料プロセス研究、 ○物質極微プロセス研究、○機能性診断学、○エネルギー変換機構学、○溶接・接合機能設計、 ○プラズマ工学、○スマートビームプロセス工学、○生産・加工プロセス解析、○プラズマ物性、 ○エネルギー形態制御	
	電気電子情報工学	システム・制御工学、先進電磁エネルギー工学、通信ネットワーク工学、通信システム工学、 光電波工学、創製エレクトロニクス材料、エレクトロニクスデバイス、集積エレクトロニクス、 ○レーザーエネルギー学、○知能システム工学、○光・電子材料科学、○極限科学・量子科学	
	環境・エネルギー工学	量子エネルギー工学、共生エネルギーシステム学、環境資源・材料学、環境システム学、 共生環境デザイン学、○放射線物性工学、○量子ビーム材料プロセス、○レーザー応用工学	
	地球総合工学	船舶工学、海洋システム工学、社会基盤工学、社会システム学、建築構造学、建築・都市デザイン学、 ○数理解析学、○信頼性設計学	
	ビジネスエンジニアリング	テクノロジーデザイン、技術知マネジメント	
基礎工学研究科	物質創成	電子相関物理、ナノ量子物理、合成化学、機能化学、反応化学工学、環境・エネルギーシステム、 生物プロセス工学、新物質創製、微小物質ダイナミクス、○極限量子科学、○太陽エネルギー化学、 ○量子物性科学、●量子機能融合、●人間社会発達環境学	修士(工学) 博士(工学、理学)
	機能創成	熱流体力学、材料構造工学、推進工学、制御生産情報、生体機械科学、生物工学、生体計測学、 ●デザインバイオニクス	
	システム創成	固体電子工学、量子機能エレクトロニクス、光エレクトロニクス、システム理論、知能システム構成論、 数理モデル、統計数理、数理計量ファイナンス、システム数理、○極限エレクトロニクス、 ●先端センシングエレクトロニクス	
言語文化研究科	言語文化	言語文化比較交流論、言語コミュニケーション論、言語情報科学、言語文化システム論、言語認知科学、 現代超域文化論、言語文化教育論	修士 (言語文化学、日本語・日本文化) 博士 (言語文化学、日本語・日本文化)
	言語社会	アジアⅠ、アジアⅡ、アジアⅢ、アジア・アフリカ、ヨーロッパⅠ、ヨーロッパⅡ、ヨーロッパ・アメリカⅠ、 ヨーロッパ・アメリカⅡ	
	日本語・日本文化	日本語・日本文化	
国際公共政策研究科	国際公共政策	国際公益システム、システム統合、○国際通商関係、○国際システム形成、●グローバルリーダーシップ	修士(国際公共政策) 博士(国際公共政策)
	比較公共政策	現代日本法経システム、比較公共政策、○比較企業行動、○比較経済発展	
情報科学研究科	情報基礎数学	組合せ数学、離散幾何学、離散構造学、応用解析学、大規模数理学、○コンピュータ実験数学	修士 (情報科学、理学、工学) 博士 (情報科学、理学、工学)
	情報数理学	計画数理学、非線形数理、情報フォトリクス、システム数理学、○知能アーキテクチャ	
	コンピュータサイエンス	アルゴリズム設計論、ソフトウェア設計学、ソフトウェア工学、並列処理工学、○知能メディアシステム	
	情報システム工学	集積システム設計学、情報システム構成学、集積システム診断学、ディペンダビリティ工学、 ○メディア統合環境、●高機能システムアーキテクチャ	
	情報ネットワーク学	先進ネットワークアーキテクチャ、インテリジェントネットワーキング、情報流通プラットフォーム、 モバイルコンピューティング、○コピキタスネットワーク、●サイバーコミュニケーション	
	マルチメディア工学	マルチメディアデータ工学、セキュリティ工学、ビッグデータ工学、ビジネス情報システム、 ○応用メディア工学、●マルチメディアエージェント	
	バイオ情報工学	ゲノム情報工学、代謝情報工学、バイオシステム解析学、共生ネットワークデザイン学、人間情報工学	
生命機能研究科	生命機能	ナノ生体科学、細胞ネットワーク、時空生物学、個体機能学、脳神経工学、生体ダイナミクス、 ○生命理工学、●免疫システム学、●脳統御機構学、●蛋白質機能情報科学、●定量発生生物学 ●生命動態システム科学、●脳情報通信融合科学	修士 (生命機能学、理学、工学) 博士 (生命機能学、理学、工学)
高等司法研究科	法務	-	法務博士(専門職)
大阪大学・金沢大学・ 浜松医科大学・千葉大学・ 福井大学 連合小児発達学研究科	小児発達学	こころの発達神経科学、こころの相互認知科学、こころの発達健康科学、こころの認知行動科学、 こころの形成発達科学	博士(小児発達学)

附置 研究所

研究所名	研究部門数	設置目的及び研究部門	附属施設
微生物病研究所	3	微生物病、免疫、がん及び特定の難治疾患に関する基礎及びその応用研究を行うことを目的とする。 ◎感染機構研究部門 ◎生体防御研究部門 ◎環境応答研究部門	◎感染動物実験施設 ◎感染症DNAチップ開発センター ◎難治感染症対策研究センター ◎遺伝子情報実験センター ◎感染症国際研究センター ◎生体応答遺伝子解析センター
産業科学研究所	5	産業に必要な先端的な事項で材料、情報及び生体に関するものの総合研究を目的とする。 ◎第1研究部門(情報・量子科学系) ◎第2研究部門(材料・ビーム科学系) ◎第3研究部門(生体・分子科学系) ◎新産業創成研究部門 ◎特別プロジェクト研究部門	◎産業科学ナノテクノロジーセンター ◎総合解析センター ◎量子ビーム科学研究施設 ◎産業科学連携教育推進センター ◎国際共同研究センター
蛋白質研究所	4	生命の基礎物質としての蛋白質の本質を解明する研究を深化させることを主な目的とする。 ◎蛋白質化学研究部門 ◎蛋白質構造生物学研究部門 ◎蛋白質高次機能学研究部門 ◎蛋白質国際統合研究部門(客員部門)	◎蛋白質解析先端研究センター
社会経済研究所	3	現代の経済問題を理論的、実証的に研究することを目的とする。 ◎理論経済学部門 ◎実証経済学部門 ◎政策研究部門	◎行動経済研究センター
接合科学研究所	3	循環型社会に適合した新しいコンセプトによる溶接・接合の学問体系を構築し、その理論の生産設計・製作への適用、溶接・接合構造物の保持・延命に関する科学技術の確立を目的とする。 ◎加工システム研究部門 ◎接合機構研究部門 ◎機能評価研究部門	◎スマートプロセス研究センター

全国共同 利用施設

研究所名	設置目的	研究部門等
核物理研究センター	原子核物理学の基礎研究を行うとともに、全国共同利用施設として全国の大学その他の研究機関の研究者の共同利用に供することを目的とする。	◎核物理実験研究部門 ◎核物理理論研究部門 ◎加速器研究部門 ◎安全衛生管理室 ◎放射線管理室 ◎研究企画室 ◎計算機室
サイバーメディアセンター	全国共同利用施設として、情報処理技術基盤の整備、提供及び研究開発、情報基盤に支えられた高度な教育の実践並びに知的資源の電子的管理及び提供を行うこと、全学的な支援として、本学の情報基盤の整備、情報化の推進及び情報サービスの高度化を図り、それらを活用して先進的な教育活動を推進すること並びに高度情報化社会を支える基盤研究を行うことを目的とする。	◎情報メディア教育研究部門 ◎マルチメディア言語教育研究部門 ◎大規模計算科学研究部門 ◎コンピュータ実験科学研究部門 ◎サイバーコミュニティ研究部門 ◎先端ネットワーク環境研究部門 ◎応用情報システム研究部門 ◎全学支援企画部門
レーザーエネルギー学 研究センター	レーザーエネルギー学の基礎及び応用に関する研究・教育を推進するとともに、その施設を学内、他の大学又は研究機関等の研究者の共同利用に供することを目的とする。	◎パワーフォトリクス研究部門 ◎レーザー核融合学研究部門 ◎高エネルギー密度科学研究部門 ◎レーザーテラヘルツ研究部門 ◎光量子放射線研究部門

□ 共同利用・共同研究拠点

大学に附置される研究所・研究施設のうち全国の関連研究者が共同利用し共同研究を行うものとして我が国の学術の発展に特に資するものについて、文部科学大臣が大学からの申請に基づき、「共同利用・共同研究拠点」として認定する制度が平成20年7月に創設されました。

本学では、これらの5つの附置研究所及び3つの全国共同利用施設が共同利用・共同研究拠点として認定されています。

学内
共同教育
研究施設

施設名	設置目的・[部門名]
低温センター	ヘリウム液化装置を含む学内共同利用の低温施設を整備してこれを管理運営し、学内各部局研究者の共同利用に供するとともに、学内の低温施設の整備及び運営を円滑にするため、センターを利用する部局の連絡調整を図ることを目的とする。
超高压電子顕微鏡センター	超高压電子顕微鏡及びその関連設備を整備運用して、超高压電子顕微鏡による応用研究及びその周辺技術の開発を共同的に推進することを目的とする。
ラジオアイソトープ総合センター	本学における放射性同位元素等の安全管理に必要な共通の業務を行うとともに、その施設を本学の教員その他の者の共同利用に供し、もって放射性同位元素等の使用に係る教育研究の進展に資することを目的とする。
環境安全研究管理センター	環境保全及び安全管理に関する研究及び教育を行うとともに、環境保全及び安全管理対策を立案し、及び実施を行うことを目的とする。
国際教育交流センター	国際教育及び国際交流に関する企画・運営に参画するとともに、国際教育及び国際交流の実践並びにこれらに関連するテーマに係る調査及び研究を通じて本学の国際化を推進することを目的とする。 [調査・企画チーム、日本語教育研究チーム、交流アドバイジング研究チーム、短期プログラム開発研究チーム、サポートオフィス]
生物工学国際交流センター	生物工学の基礎と応用に関する研究を行うとともに、これに関連する領域について諸外国との学術交流を推進することを目的とする。
太陽エネルギー化学研究センター	太陽エネルギーによる化学的な変換を研究するとともに、新しい太陽エネルギーの利用技術の開発を推進することを目的とする。
総合学術博物館	学術標本資料の収集、展示、公開及び教育研究の支援を行うとともに、次に掲げる調査研究及び業務を行うことを目的とする。 (1) 学術標本資料の収集及びその活用に関すること。(2) 学術標本資料の解析及びその情報化に関すること。 [研究・教育部(資料基礎研究系、資料先端研究系、資料情報研究系)、資料部]
保健センター	保健管理に関する専門的業務及び保健管理についての専門的調査、研究を行い、本学における学生及び職員の健康教育及び健康の保持、増進を図ることを目的とする。
臨床医工学融合研究教育センター	学内外の組織及び研究者と連携し、臨床医学の飛躍的発展のための臨床医工学・情報科学融合領域に関する各種研究プロジェクトを実施するとともに、医学・生命科学に精通した工学・情報科学者及び工学・情報科学に精通した医学者の養成を図ることを目的とする。 [予測医工学情報学研究部門、創成医工学情報学研究部門、橋渡し医工学情報学研究部門、教育部門、地域連携部門、産学連携部門]
コミュニケーションデザイン・センター	全学の大学院学生を主たる対象としたコミュニケーション教育及び高度教養教育並びにこれに関連する研究及び社会活動を行うことを目的とする。 [臨床部門、科学技術部門、アート部門、コミュニティ部門、コミュニケーションデザイン部門]
金融・保険教育研究センター	学内外の組織及び研究者と連携することにより、社会・制度的側面と数理・技術的側面の双方に精通した数理ファイナンス、金融経済学、金融工学及び保険科学分野の研究者及び実務家の養成を図るとともに、当該文理学際融合領域諸分野の研究交流を推進することを目的とする。
科学機器リノベーション・工作支援センター	全学的な有効活用を資するため、国立大学法人大阪大学における設備整備に関するマスタープランに基づき、大阪大学における教育又は研究に必要な設備、機器等の再利用及び共同利用を促進するとともに、実験装置の試作、改造、修理等を行うことにより本学における教育研究環境の計画的かつ効率的な整備充実を図ることを目的とする。
グローバルコラボレーションセンター	大阪大学による国際貢献の発展を目指して、国際協力と共生社会に関する研究を推進し、真の国際性を備えた人材の養成のための教育を行うとともに、その成果等に基づく社会活動を実践することを目的とする。 [教育開発部門、研究推進部門、実践支援部門、プロセス評価室、海外体験型教育企画オフィス]
日本語日本文化教育センター(教育関係共同利用拠点)	外国人留学生等に対する日本語及び日本文化等の教育並びにこれに必要な調査研究を実施するとともに、国際的な教育連携を図り、世界の日本語日本文化教育の充実発展に寄与することを目的とする。
環境イノベーションデザインセンター	学内外の組織及び研究者と連携することにより、多様な研究成果を環境・エネルギー分野において戦略的に融合させ、持続可能な社会の実現に向けた研究を推進するとともに、環境イノベーションを主導できる人材の育成を図ることを目的とする。 [環境イノベーションデザイン企画部門、環境イノベーション人材育成部門、低炭素キャンパス実践部門、地域・国際環境交流部門]
ナノサイエンスデザイン教育研究センター	学内外の組織及び研究者と連携し、ナノサイエンス・ナノテクノロジー分野の飛躍的発展のために理工系の横断・連携・融合領域に関する各種教育研究プログラムを企画し、及び実施するとともに、ナノサイエンス・ナノテクノロジー分野に精通した理工系の研究者及び技術者の人材育成を図ることを目的とする。 [学際教育デザインコーディネーション部門、学際融合リサーチトレーニングデザイン部門、社会連携デザイン部門、グローバルネットワークデザイン部門、計算機マテリアルデザインコア部門、物質・分析・機能デザインコア部門]
知的財産センター	全学的な知的財産教育を推進することにより、知的財産を戦略的に活用し発展させることのできる知的財産法分野の人材を養成するとともに、知的財産に関する教育・研究基盤システムを構築し、もって知的財産教育の拡充及び産学連携の推進を図ることを目的とする。テント部門、デザイン部門、ブランド部門、ノウハウ部門、コピーライト部門、プランニング部門]

□教育関係共同利用拠点

多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくために、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進するものとして、大学教育全体として多様かつ高度な教育を展開していくものについて、文部科学大臣が大学からの申請に基づき、「教育関係共同利用拠点」として認定する制度が平成21年9月に創設されました。本学では日本語日本文化教育センターが教育関係共同利用拠点として認定されています。

免疫学フロンティア研究センター

「目に見える拠点形成」を目的とした、文部科学省の「世界トップレベル研究拠点プログラム」に採択され、世界的な免疫学研究者である審良静男教授を拠点長として平成19年10月に発足。免疫学とイメージング(画像化)技術、さらにバイオインフォマティクス(生体情報学)との融合研究を通して、動物生体内における免疫反応の可視化・予測により、免疫系の全貌を明らかにすることを目的とする。

産学連携本部

大学に産業創出拠点を導く「Industry on Campus」構想の下、本学の卓越した研究と教育に基づき、「共同研究講座」、「協働研究所」、「協働ユニット」の創設など、産業界との多様な連携を推進して社会と世界の発展に寄与することを目的とする。

適塾記念センター

大阪大学の源流であり、国の史跡・重要文化財である適塾の維持管理及び適塾関係者の業績の顕彰に努めるとともに、適塾に関する研究並びに大阪及びオランダの学術、文化に関連する研究の発展に寄与することを目的とする。

21世紀懐徳堂

大阪大学の社会学連携の情報を集約し広報するとともに、大阪大学の精神的源流である「懐徳堂」で尊重された広範な分野にわたる学び合いの精神を汲み、公開講座、サイエンスカフェ、シンポジウムなどを企画・運営し、市民のみならずと学生、教職員が出会い、能動的に学び合う場づくりを展開することを目的とする。

大型教育研究プロジェクト支援室

様々な分野での専門的知識と経験を持ったURA(リサーチ・アドミニストレーター)のもと、全学的かつ重点的に推進する大型教育研究プロジェクトに係る支援体制の整備及び研究戦略の企画機能の強化を図ることを目的とする。

教育学習支援センター

学生の主体的な自主学習の促進及びそれに導く教育方法の改善並びにキャリア形成のための教育プログラムの研究開発を行うことにより教育学習支援機能を強化し、もって大阪大学の教育の高度化に資することを目的とする。

情報推進機構

本学における教育・研究活動を支援する組織として、情報に関する方策全般について、最新の情報通信技術に基づいた企画・運営を行い、本学の情報基盤の整備、情報化の推進及び情報サービスの高度化を図ることを目的とする。

全学教育推進機構

学部共通教育、大学院横断教育並びに全学の言語教育及び海外教育の実施に関する企画及び運営を行うとともに、大学教育に関する実践的な研究を行い、大学教育の質の向上及び社会に求められる人材を育成する機能の強化を図ることを目的とする。

大阪大学・情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター

今後の新たな研究領域として重要となる脳情報通信の分野について、関係機関との連携・協力の一層の強化を図りつつ、世界トップクラスの叡智を結集し融合的に研究を推進することを目的とする。

安全衛生管理部

安全衛生管理部は、化学、生化学等の専門的知識を有する教員と事務系職員で構成される組織で、各部局、各研究室等の協力を得て、事故予防のための安全教育、安全巡視、事故情報の収集・分析等の活動を通じて、安全で快適な教育研究環境の実現を目指すことを目的とする。

環境・エネルギー管理部

環境・エネルギー管理部は、環境イノベーションデザインセンター及び施設部と相互に連携協力して、エネルギーの使用の合理化及び温室効果ガスの排出抑制を推進するとともに、エネルギーの統括的な管理を行うことを目的とする。

キャンパスライフ支援センター

障害(傾向)学生支援・学生生活支援・キャリア支援の3つのユニットが中心となって、他部局と連携し、包括的な学生支援体制の充実を図っている。それにより、学生の多面的成長を促進することを目的とする。

センター・オブ・イノベーション (COI)研究推進機構

文部科学省が平成25年度から開始した「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」に採択され、平成26年1月1日に発足。本プログラムによって形成されたCOI拠点における研究開発活動の運営統括・マネジメント及び新たなシーズ・ニーズ等の発掘を行うことを目的とする。

附属図書館

総合図書館

【豊中キャンパス】

附属図書館の中核的な施設である総合図書館は国立大学の中央館としてトップレベルの規模を誇る。広く総合的な教養を養うために必要な資料や豊中キャンパスの部局に関連する分野の資料を中心に整備。

理工学図書館

【吹田キャンパス】

主に理工学分野の図書館で大学の前身である旧制大阪工業大学の旧蔵書も所蔵している。関連部局を含めた蔵書数は約49万冊、所蔵雑誌は約9,300タイトルに上る。

生命科学図書館

【吹田キャンパス】

主に医学・歯学・薬学などの生命科学分野の図書館で、この分野における国際最大級の規模・蔵書を持ち、学術情報提供の中心的役割を果たす。

外国学図書館

【箕面キャンパス】

外国語学部の25の専攻語を中心に世界各国の文化・言語および地域研究や国際研究、言語学などの分野の資料を揃え、この分野において国内有数の規模を誇る。

●蔵書数

(平成25年度)

	総合図書館	生命科学図書館	理工学図書館	外国学図書館	計
和	1,289,094	140,453	196,511	351,549	1,977,607
洋	1,144,844	330,578	225,419	257,721	1,958,562
合計	2,433,938	471,031	421,930	609,270	3,936,169

●過去6年間におけるサービス状況の推移



※平成20年度 総合図書館・理工学図書館耐震改修工事を実施。

●サービス状況

(平成25年度)

入館者数	1,365,917 人
貸出冊数	406,487 冊
貸出人数	254,933 人
文献複写件数	107,290 件
図書館相互利用	※図書館相互利用は、学外の図書館との相互利用件数
現物貸借	貸出冊数 1,690 冊 借受冊数 2,091 冊
文献複写	受付件数 21,941 件 依頼件数 7,037 件

附属病院

医学部附属病院

◎外来受付時間

初診：8:30～11:00
再診：8:30～11:30
予約再診：8:30～15:00
休診日：土曜日・日曜日・休日・年末年始(12/29～1/3)

※医学部附属病院では初診の方は医師の紹介状が必要です。

◎病床数／1,078

◎診療科

内科系科	循環器内科、腎臓内科、消化器内科、内分泌・代謝内科、呼吸器内科、免疫・アレルギー内科、血液・腫瘍内科、老年・高血圧内科、漢方医学科
外科系科	心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、病理診断科
感覚・皮膚・運動系科	眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、整形外科、皮膚科、形成外科
脳神経精神科	神経内科・脳卒中科、神経科・精神科、脳神経外科、麻酔科
女性・母子・泌尿生殖科	産科、婦人科、小児科、泌尿器科
放射線科	放射線診断科、放射線治療科、核医学診療科
歯科	歯科

◎患者数

(平成25年度)

入院	延患者数	339,507 人
	1日平均患者数	930.2 人
外来	延患者数	593,758 人
	1日平均患者数	2,433.4 人

歯学部附属病院

◎外来受付時間

初診：8:30～11:30
再診：8:30～15:00
休診日：土曜日・日曜日・休日・年末年始(12/29～1/3)

※再診は原則として全科予約制です。

◎病床数／40

◎診療科

歯疾制御系科	保存科、口腔治療・歯周科、予防歯科、小児歯科
咬合・咀嚼障害系科	口腔補綴科、咀嚼補綴科、矯正科
口腔病態系科	口腔外科1(制御系)、口腔外科2(修復系)、放射線科、歯科麻酔科、口腔内科、口腔小児科

◎患者数

(平成25年度)

入院	延患者数	12,964 人
	1日平均患者数	35.5 人
外来	延患者数	217,796 人
	1日平均患者数	892.6 人

その他の施設

大阪大学会館

創立80周年を機に、「阪大人の共通の思いを寄せる施設」、さらには、「大阪における学術の伝統を受け継ぐシンボル」とするため、これまで「イ号館」と呼ばれていた建物を、平成23年に「大阪大学会館」として整備しました。なお、この建物は昭和3年(1928年)に旧制浪速高等学校の校舎として建てられ、平成16年(2004年)には、国の登録有形文化財建造物に指定されています。

■共用施設 講堂(462席)／アセンブリー・ホール(328㎡)／会議室(24席)
セミナー室1(40席)／セミナー室2(16席)／国際ラウンジ／来賓室
●建築面積／1,276㎡、●延面積／4,237㎡ 地上5階建て

中之島センター

創立70周年記念事業の一環として、産業界や卒業生、教職員の寄附により、本学が創設された開校の地に建設したものです。都市の中心部に位置し、たくさんの人がアクセスできる第4のキャンパスとして、本学の教育・研究活動等に使用するほか、社会への情報発信や交流拠点として活用されています。

■主な機能 ◎教育研究機能に対する事業 ◎社会との交流機能に対する事業
◎社会への情報発信機能に対する事業
●建築面積／752㎡、●延面積／8,158㎡ 地上10階、地下2階建て、●竣工／平成16年

東京オフィス

首都圏における活動拠点として、企業等との連携、同窓生との交流等を図り、本学の教育研究の進展及び産学連携に資することを目的として平成26年に開設しました。官公庁や企業の本社等が立ち並ぶ東京霞が関に位置し、首都圏での情報の収集・発信や交流の場として、本学教職員・学生や卒業生等に活用されています。

■施設概要 多目的室1(18席)／多目的室2(12席)／共用スペース／執務室／応接室
◎所在地／東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル10階

海外拠点

サンフランシスコ(アメリカ合衆国)、グローニンゲン(オランダ王国)、バンコク(タイ王国)、上海(中華人民共和国)に海外拠点を設け、国際的な教育研究活動及び現地での同窓会活動のサポートを行っています。

北米センター(サンフランシスコオフィス)

◎所在地 44 Montgomery St., Suite 3580, San Francisco, CA 94104, U.S.A.
◎Phone +1-415-296-8561 ◎FAX +1-415-296-8676
◎URL <http://www.osaka-u-sf.org>
◎設置 平成16年4月

ASEANセンター(バンコクオフィス)

◎所在地 159 Serm-Mit Tower, 10th Floor, Room C, Sukhumvit (21) Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110, Thailand
◎Phone +66-2-661-7584 ◎FAX +66-2-661-7585
◎URL <http://www.osaka-u-bangkok.org>
◎設置 平成18年4月

総合学術博物館

本学モットー「地域に生き世界に伸びる」のもと、里山・待兼山の遊歩道が結ぶ二つの登録有形文化財－大阪大学会館と待兼山修学館を拠点に活動しています。懐徳堂・適塾の資料やマチカネワニの化石、真空管式コンピュータなどを展示し、春季・秋季には大学博物館ならではの企画展示を行うほか、本学の研究成果をレクチャーやサイエンス・カフェで紹介するとともに、貴重資料のデータベースの公開、叢書の刊行も行っています。

■利用案内 待兼山修学館
◎開館時間／10:30～17:00(入館は16:30まで)
◎休館日／日曜日・休日・年末年始

アーカイブズ

平成24年10月に設置され、『法人文書資料部門』と『大学史資料部門』の2部門で構成されています。平成25年4月に公文書等の管理に関する法律に基づく「国立公文書館等」(国立公文書館に類する機能を有する施設)及び「歴史資料等保有施設」の指定を受けました。同法律に基づいて、「国民共有の知的資源」である歴史的文化的価値を有する法人文書(「歴史公文書等」)や本学の歴史に関する資料を適切に管理し、その保存・利用・公開といった業務を行っています。

■利用案内 ◎開室日／月曜日～金曜日(休日、年末年始を除く)
◎利用時間／9:00～16:30

欧州センター(グローニンゲンオフィス)

◎所在地 Zernikelaan 6, 9747AA, Groningen, The Netherlands
◎Phone +31-50-363-8865 ◎FAX +31-50-363-8866
◎URL <http://www.osaka-u-groningen.org>
◎設置 平成17年4月

東アジアセンター(上海オフィス)

◎所在地 Room 817, Tongji Building Block A, No.1, Zhanag Wu Road, Shanghai City 200092, China
◎Phone +86-21-6598-5665 ◎FAX +86-21-6598-5535
◎URL <http://shanghai-center.osaka-u.ac.jp>
◎設置 平成22年2月

福利厚生施設等

課外活動施設等

施設名	概要
グラウンド	豊中：21,860㎡ 吹田：18,641㎡ 箕面：17,400㎡
コート	豊中：テニス(10面)、吹田：テニス(8面) 箕面：テニス(5面)、ハンドボール(1面)
体育館	豊中：1棟(3,105㎡、大体育室・小体育室・柔道場・剣道場) 吹田：1棟(3,237㎡、アリーナ・トレーニング室) 箕面：1棟(2,540㎡、体育室・武道場・球技場・トレーニング場)
第二体育館	豊中：1棟(1,386㎡、大体育室・小体育室) 箕面：1面(688㎡、体育室)
プール	豊中：50m×8コース、箕面：25m×7コース
艇庫	守口：ボート(218㎡)、西宮：ヨット(201㎡)
弓道場	豊中：1棟(83㎡、7人立) 吹田：1棟(762㎡、8人立)
ゴルフ練習場	豊中：1面(445㎡、6打席)
卓球場	豊中：(131㎡、3面)
体育管理棟	豊中：1棟(156㎡、合宿所・部屋) 吹田：1棟(433㎡、器具庫・更衣室)
エアライフル場	吹田：1棟(256㎡、10人立、10m)
アーチェリー場	吹田：1棟(3,605㎡、14人立、30～90m)
トレーニングルーム	豊中：1棟(317㎡)
明道館	豊中：1棟(990㎡、共用室・合宿所)
仮設サークル棟	豊中：1棟(137㎡、共用室)
学生会館	豊中：1棟(1,938㎡、大集会室、小集会室)
音楽練習室1	豊中：1棟(102㎡)
音楽練習室2	豊中：1棟(226㎡)
茶室	豊中：1棟(9㎡)

施設名	概要
運動用具庫	豊中：1棟(250㎡、用具庫)
学生交流棟	豊中：3,4階(2,093㎡、共用室・練習室・和室)
サークル棟	箕面：1棟(1,471㎡、共用室・練習室等)
合宿所	箕面：1棟(203㎡)
豊中福利会館	豊中：食堂(621席)、パン工房、書店、売店、理髪店、旅行センター、ATM
図書館下食堂	豊中：食堂(360席)、売店
DonDon	豊中：食堂(144席)、コピーセンター、マイルーム、談話室
キャンパスキッチン	豊中：屋台(240席)
カフェテリアらふおれ	豊中：食堂(324席)
カルチエ	豊中：喫茶(86席)
ミュージアムカフェ坂	豊中：喫茶(40席)
待兼山会館(LIBRE)	豊中：食堂(102席)、会議室2室
学生交流棟	豊中：食堂・喫茶(504席)、ミニコンビニ
吹田福利会館	吹田：食堂(605席)、書店、売店、理髪店、旅行センター、マイルーム、ATM
本部前福利会館	吹田：食堂(166席)、喫茶(48席)、書店、売店、ATM
薬学研究科食堂	吹田：食堂(157席)
微生物病研究所	吹田：食堂(108席)、セブン-イレブン(ATMあり)
医学部	吹田：書籍、売店、旅行センター
医学部保健学科	吹田：売店(出張販売所)
歯学部	吹田：売店
職員会館(さわらび)	吹田：食堂(144席)、会議室2室、談話室
職員食堂(匠)	吹田：食堂(108席)
ラ・シェーナ	吹田：レストラン(77席)
ミネルバ	吹田：レストラン(70席)
医学部附属病院	吹田：ロース、スターバックスコーヒー、食堂、サブウェイ、うなぎ店、うどん店、レストラン(140席)
カフェ・ド・クリエ(歯学部附属病院)	吹田：カフェ
箕面福利会館	箕面：食堂(491席)、書籍、売店、旅行センター、マイルーム、フードコンビニ、ATM

学生寄宿舎(学寮)・その他施設

施設名	名称	概要
学生寄宿舎	刀根山寮 (男子)	3棟(2,637㎡) 収容人員 142名
	清明寮 (男子)注	3棟(4,111㎡) 収容人員 152名
	新稲寮 (女子)	1棟(769㎡) 収容人員 40名
	向陽寮 (男子)	4棟(5,546㎡) 収容人員 104名
	もみじ寮 (女子)注	
セミナーハウス	ひるぜんセミナーハウス	1棟(350㎡) 収容人員 14名
外国人宿泊施設	国際交流会館	2棟(7,925㎡) 客室 164室
	国際交流会館吹田分館	1棟(537㎡) 客室 13室
	春日丘ハウス	3棟(2,989㎡) 客室 66室
留学生宿泊施設	吹田留学生会館	1棟(2,080㎡) 収容人員 76名
	新稲国際学生宿舎	1棟(219㎡) 収容人員 12名
	箕面留学生会館	2棟(3,732㎡) 収容人員 123名
	箕面国際学生宿舎	1棟(896㎡) 収容人員 40名
	津雲台国際学生宿舎	1棟(3,113㎡) 収容人員 119名
職員会館	待兼山会館	1棟(809㎡) 客室 7室

(注)清明寮は平成25年度より、もみじ寮は平成26年度より留学生との混住寮となっています。

保育園

施設名	建物延床面積	定員
たけのこ(吹田キャンパス)	650㎡	2～5歳 各20人 合計 80人
まきば(吹田キャンパス)	168㎡	0歳 25人 1歳 20人 合計 45人
まちなか(豊中キャンパス)	658㎡	0～5歳 各10人 合計 60人

土地・建物

(平成26年5月1日現在)

地区名	土地(㎡)	建物	
		建(㎡)	延(㎡)
吹田地区	997,071.32	176,405.33	684,629.40
豊中地区	445,851.08	69,422.02	266,874.80
箕面地区	140,400.04	15,593.27	62,290.16
中之島地区	1,000.00	752.00	8,158.00
その他	68,027.17 ※(28,097.91)	17,668.41	54,779.88
合計	1,652,349.61 ※(28,097.91)	279,841.03	1,076,732.24

※()内借用地で外数

寄附講座
寄附研究
部門

部 局 名	講座・研究部門の名称	期 間		
経済学研究科	イノベーション・マネジメント寄附講座	H25.4 ~ H28.3	(3年)	
医学系研究科	癌ワクチン療法学寄附講座	H14.12 ~ H17.11 H17.12 ~ H20.11 H20.12 ~ H23.11 H23.12 ~ H26.11	(3年) (3年) (3年) (3年)	
	臨床遺伝子治療学(第一製薬)寄附講座	H14.12 ~ H19.11	(5年)	
	臨床遺伝子治療学(第一三共)寄附講座	H19.12 ~ H24.11	(5年)	
	臨床遺伝子治療学寄附講座	H24.12 ~ H29.11	(5年)	
	樹状細胞制御療法学寄附講座	H15.6 ~ H20.5 H20.6 ~ H23.5 H23.6 ~ H26.5	(5年) (3年) (3年)	
	視覚情報制御学(トプコン)寄附講座	H16.5 ~ H21.3 H21.4 ~ H24.3 H24.4 ~ H26.3 H26.4 ~ H31.3	(4年11月) (3年) (2年) (5年)	
	先端移植基盤医療学寄附講座	H17.1 ~ H21.12 H22.1 ~ H26.12	(5年) (5年)	
	生体機能補完医学寄附講座	H17.1 ~ H19.12 H20.1 ~ H21.12 H22.1 ~ H26.12	(3年) (2年) (5年)	
	漢方医学(ツムラ)寄附講座	H17.4 ~ H20.3 H20.4 ~ H23.3 H23.4 ~ H26.3 H26.4 ~ H29.3	(3年) (3年) (3年) (3年)	
	皮膚・毛髪再生医学寄附講座	H18.4 ~ H23.3 H23.4 ~ H26.3 H26.4 ~ H28.3	(5年) (3年) (2年)	
	運動器バイオマテリアル学(ジョンソン・エンド・ジョンソン)寄附講座	H18.10 ~ H21.9 H21.10 ~ H24.9 H24.10 ~ H25.9	(3年) (3年) (1年)	
	運動器バイオマテリアル学寄附講座	H25.10 ~ H28.9	(3年)	
	緩和医療学寄附講座	H18.10 ~ H21.9 H21.10 ~ H23.9 H23.10 ~ H26.9	(3年) (2年) (3年)	
	疼痛医学寄附講座	H19.4 ~ H22.3 H22.4 ~ H24.3 H24.4 ~ H26.3 H26.4 ~ H28.3	(3年) (2年) (2年) (2年)	
	先進心血管治療学寄附講座	H19.4 ~ H22.3 H22.4 ~ H25.3 H25.4 ~ H28.3	(3年) (3年) (3年)	
	癌幹細胞制御学寄附講座	H19.4 ~ H22.3 H22.4 ~ H25.3 H25.4 ~ H28.3	(3年) (3年) (3年)	
	医療経済・経営学(アストラゼネカ)寄附講座	H19.4 ~ H22.3	(3年)	
	医療経済・経営学寄附講座	H22.4 ~ H25.3 H25.4 ~ H28.3	(3年) (3年)	
	運動器医工学治療学寄附講座	H20.10 ~ H25.9 H25.10 ~ H30.9	(5年) (5年)	
	分子精神神経学(大日本住友製薬)寄附講座	H20.10 ~ H23.9 H23.10 ~ H26.9	(3年) (3年)	
	医薬分子イメージング学寄附講座	H21.10 ~ H26.9	(5年)	
	医療経済産業政策学寄附講座	H22.3 ~ H25.2 H25.3 ~ H28.2	(3年) (3年)	
	乳房再生医学寄附講座	H22.4 ~ H25.3 H25.4 ~ H28.3	(3年) (3年)	
	心血管再生医学寄附講座	H22.9 ~ H25.8 H25.9 ~ H28.8	(3年) (3年)	
	再生誘導医学寄附講座	H22.10 ~ H25.9 H25.10 ~ H30.9	(3年) (5年)	
	代謝血管学寄附講座	H23.4 ~ H27.3	(4年)	
	消化器癌先進化学療法開発学寄附講座	H23.4 ~ H26.3 H26.4 ~ H28.3	(3年) (2年)	
	重症臓器不全治療学寄附講座	H23.8 ~ H26.7	(3年)	
	抗体医薬臨床応用学寄附講座	H24.4 ~ H27.3	(3年)	
	腎疾患統合医療学寄附講座	H24.4 ~ H27.3	(3年)	
	総合地域医療学寄附講座	H24.4 ~ H26.3 H26.4 ~ H28.3	(2年) (2年)	
	低侵襲循環器医療学寄附講座	H24.4 ~ H27.3	(3年)	
	視覚再生医学寄附講座	H25.4 ~ H28.3	(3年)	
	臨床統計疫学寄附講座	H25.10 ~ H30.9	(5年)	
	幹細胞応用医学寄附講座	H26.4 ~ H31.3	(5年)	
	先端デバイス医学寄附講座	H26.4 ~ H29.3	(3年)	
	薬学研究科	先制心身医薬学寄附講座	H26.5 ~ H29.3	(2年11月)

※企業等民間からの奨学寄附金を財源とする時限付きの講座・研究部門。

部 局 名	講座・研究部門の名称	期 間
工学研究科	酵母リソース工学寄附講座	H23.10 ~ H28.9 (5年)
	国際環境生物工学(住友電工グループ社会貢献基金)寄附講座	H23.10 ~ H26.9 (3年)
	危機管理工学へのプロダクトデザイン応用研究開発寄附講座	H25.4 ~ H30.3 (5年)
国際公共政策研究科	グローバルな公共倫理とソーシャル・イノベーション(稲盛財団)寄附講座	H24.4 ~ H29.3 (5年)
連合小児発達学研究所	健康発達医学寄附講座	H22.4 ~ H27.3 (5年)
微生物病研究所	デングワクチン(阪大微生物病研究会)寄附研究部門	H23.4 ~ H28.3 (5年)
コミュニケーションデザイン・センター	市民協働による道路空間コミュニケーション・マネジメント寄附研究部門	H25.10 ~ H28.9 (3年)
免疫学フロンティア研究センター	免疫機能統御学(岸本基金)寄附研究部門	H23.4 ~ H28.3 (5年)

※企業等民間からの奨学寄附金を財源とする時限付きの講座・研究部門。

共同研究
講座
共同研究
部門

部 局 名	講座・研究部門の名称	期 間
医学系研究科	脳神経機能再生学(帝人ファーマ)共同研究講座	H22.7 ~ H28.3
	免疫再生制御学共同研究講座	H26.4 ~ H31.3
	ゲノム情報学共同研究講座	H26.4 ~ H29.3
	眼免疫再生医学共同研究講座	H26.4 ~ H29.3
	癌創薬プロファイリング学共同研究講座	H26.4 ~ H29.3
	基礎腫瘍免疫学共同研究講座	H26.4 ~ H31.3
	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	H26.4 ~ H31.3
医学系研究科 (保健学専攻)	疾患分子情報解析学(和光純薬工業)共同研究講座	H20.4 ~ H28.3
	癌免疫学(大塚製薬)共同研究講座	H21.7 ~ H26.6
	ロボティクス&デザイン看工融合共同研究講座	H22.4 ~ H27.3
工学研究科	ダイキン(フッ素化学)共同研究講座	H18.6 ~ H28.3
	大阪大学 コマツ共同研究講座(建機等イノベーション講座)	H18.7 ~ H27.3
	マイクロ波化学共同研究講座	H18.7 ~ H27.3
	大阪大学 新日鐵住金(鉄鋼元素循環工学)共同研究講座	H19.5 ~ H27.3
	大阪大学 日新製鋼(鉄鋼表面フロンティア)共同研究講座	H19.6 ~ H28.3
	三井造船(高品位溶接・接合プロセス工学)共同研究講座	H19.7 ~ H28.3
	三菱電機・生産コンバージング・テクノロジー共同研究講座	H20.4 ~ H29.3
	セキュアデザイン共同研究講座	H22.4 ~ H28.3
	溶接保全共同研究講座	H20.10 ~ H26.9
	大阪ガス(エクセルギーデザイン)共同研究講座	H22.4 ~ H27.3
	ネオス(分離濃縮システム)共同研究講座	H22.7 ~ H27.3
	「創・蓄・省エネデバイス生産技術」共同研究講座	H23.4 ~ H29.3
	NEXCO西日本 高速道路学共同研究講座	H23.7 ~ H27.6
	ナノ粒子アジュバント(武田薬品工業)共同研究講座	H24.2 ~ H27.1
	核酸制御(陽進堂)共同研究講座	H25.2 ~ H30.1
	大阪大学・日本触媒(機能化学)共同研究講座	H26.4 ~ H29.3
	今治造船(高性能船型開発)共同研究講座	H26.4 ~ H29.3
情報科学研究科	将来ネットワーク共同研究講座	H25.4 ~ H28.3
接合科学研究所	日立造船 先進溶接技術共同研究部門	H23.1 ~ H28.3
	大阪富士工業 先進機能性加工共同研究部門	H25.4 ~ H27.3
超高压電子顕微鏡センター	電子顕微鏡基礎研究共同研究部門	H24.10 ~ H27.9
臨床医工学融合研究 教育センター	次世代内視鏡治療学共同研究部門	H24.10 ~ H27.3
	栄養デバイス未来医工学共同研究部門	H25.4 ~ H27.3
産学連携本部	ピアス(皮膚再生技術)共同研究部門	H21.4 ~ H27.3

※企業等からの研究経費等を活用して設置運用される講座・研究部門。

協働
研究所

部 局 名	講座・研究部門の名称	期 間
工学研究科	カネカ基盤技術協働研究所	H23.7 ~ H29.3
	日東電工先端技術協働研究所	H23.7 ~ H29.6
	パナソニック材料デバイス基盤協働研究所	H24.4 ~ H27.3
	Hitz(バイオ)協働研究所	H24.10 ~ H29.3
産学連携本部	アジレント・ライフサイエンス協働研究所	H23.10 ~ H28.6

企業の研究組織を大阪大学内に誘致し、多面的な産学連携活動を展開する拠点。

統計

職員数

(平成26年5月1日現在)

区分	教員							研究員 特任 研究員	事務・技術・教員職員				医療職	合計	嘱託 職員	非常勤 教員等	非常勤 職員
	教授	准教授	講師	助教	助手	各種 講師	小計		事務	技術	教務	小計					
計	922 (86)	854 (149)	236 (66)	1,143(308)	13	3	3,171	289	1,196(225)	301 (99)	6	1,503	1,319(102)	6,282	52	1,690	1,911
本部事務機構	11 (5)	10 (5)	5 (3)	10 (7)			36	18	383 (36)	49 (2)		432		486	17	47	272
文学研究科・文学部	54	25	5 (1)	19			103		14 (1)		2	16		119		9	32
人間科学研究科・人間科学部	44	25	4 (1)	26 (4)			99		14 (1)			14		113		11	31
法学研究科・法学部	21	13	1	1	3		39		16			16		55	1	4	14
経済学研究科・経済学部	23	17	2	5 (2)	3		50		15			15		65	1	2	23
理学研究科・理学部	73 (1)	68 (3)	15 (1)	76 (5)	1		233	14	38 (3)	17		55		302	3	34	84
医学系研究科・医学部	115(32)	90(28)	58(10)	332(98)	2		597	32	98(53)	34(17)		132		761		194	341
歯学研究科・歯学部	19	21 (1)	7	43 (1)		3	93		46(10)			46	1	140		10	36
薬学研究科・薬学部	20 (1)	17 (2)	6 (4)	28(11)			71	6	13 (1)	1 (1)		14		91		5	26
工学研究科・工学部	155(13)	142(10)	22 (8)	159(28)			478	53	99(20)	37 (3)	1	137		668	13	100	201
基礎工学研究科・基礎工学部	60	45	8	87(12)	1		201	15	45	6		51		267	3	25	66
言語文化研究科	67 (1)	83(26)	25 (9)	8 (1)			183		37	1		38		221		4	24
国際公共政策研究科	16	14		3	1		34		1 (1)			1		35		12	17
情報科学研究科	30 (1)	31 (2)		31 (7)			92	5	16 (5)	3 (1)		19		116		2	36
生命機能研究科	21 (2)	22 (1)	1 (1)	26 (8)			70	6	13 (2)	7 (7)		20		96		30	37
高等司法研究科	18	3					21							21		6	2
連合小児発達学研究科	4 (1)	5 (1)	2	13 (6)			24	2	1 (1)			1		27		12	10
附属図書館									49			49		49			81
医学部附属病院	2 (1)	12 (3)	11 (2)	35(13)			60	13	135(26)	38(13)		173	1,241(100)	1,487	5	662	206
歯学部附属病院	2	3	17 (1)	14 (1)			36						71 (2)	107		283	23
微生物病研究所	20 (4)	21 (7)	5 (4)	37 (9)			83	31	21 (6)	7 (4)	3	31		145		19	41
産業科学研究所	28 (3)	38 (5)	3 (3)	56(12)			125	19	23 (7)	17 (5)		40		184		49	55
蛋白質研究所	14	13	1	18 (2)			46	23	12 (1)	7 (1)		19		88		41	52
社会経済研究所	8		3	1	2		14		7 (1)			7		21		5	8
接合科学研究所	11	16 (4)	1	8 (3)			36	3	9 (2)	5 (1)		14		53		28	24
低温センター				2			2							2			2
超高压電子顕微鏡センター		3		3 (2)			6	2		1		1		9		5	4
ラジオアイソトープ総合センター	1	1					2			1		1		3			3
環境安全研究管理センター	1		1	1			3							3			2
国際教育交流センター	4	9 (3)		1 (1)			14		7 (7)			7		21			12
生物工学国際交流センター	2	1	1	2			6		1			1		7		1	3
太陽エネルギー化学研究センター	2	2					4			1		1		5		5	1
総合学術博物館	2	3	1 (1)	1			7							7			
保健センター	4	3	1	5			13		3			3	6	22	2		16
臨床医学融合研究教育センター	2 (2)	4 (4)		1 (1)			7							7		2	6
コミュニケーションデザイン・センター	8 (2)	4 (3)	3 (3)	1 (1)			16							16		8	1
金融・保険教育研究センター				2 (2)			2							2		1	2
科学機器リノベーション・工作支援センター		2					2			9		9		11	2		4
グローバルコラボレーションセンター		8 (6)	1	5 (5)			14	1						15			
日本語日本文化教育センター	6	9	2	2 (1)			19							19			4
環境イノベーションデザインセンター		2 (2)		4 (4)			6	1						7		3	2
ナノサイエンスデザイン教育研究センター		2 (2)		1 (1)			3							3		10	4
知的財産センター	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)			5		1 (1)			1		6		8	
核物理研究センター	8	7 (1)	1 (1)	13 (5)			29	2	7	4		11		42		12	24
サイバーメディアセンター	7	8	4 (1)	2			21	2						23		5	3
レーザーエネルギー学研究センター	11	11	3	4			29	4	8 (1)	11		19		52		16	20
免疫学フロンティア研究センター	5 (4)	19(19)		23(23)			47	26	26(19)	44(44)		70		143		6	19
未来戦略機構	9 (6)	10 (9)	8 (7)	28(28)			55	1	20(20)			20		76	3	7	7
全学教育推進機構	7	7	1	1			16		18	1		19		35	2		30
教育学習支援センター			2 (1)	1(1)			3	2						5		1	
適塾記念センター		1					1							1		2	
アーカイブズ		1					1							1			
大型教育研究プロジェクト支援室	3 (3)	2 (1)	3 (3)	2(2)			10	5						15			
情報推進機構	1 (1)		1	1			3							3			
COI 研究推進機構	1 (1)						1	3						4			4

※派遣・休職・育休は含まない。

※産学連携本部、海外拠点本部、クリエイティブユニット、インターナショナルカレッジ、キャンパスライフ支援センター、ハラスメント相談室、卒業生室、基金室及びCOI事業推進支援事務局については本部事務機構に含む。

※法学研究科・高等司法研究科事務局については法学研究科・法学部、経済学研究科・国際公共政策研究科事務局については経済学研究科・経済学部を含む。

※()は寄附講座教員、特任教職員(常勤)で内数。※非常勤教員等…特任教員、特任研究員、医員、医員(臨床研修) ※図書館職員は事務に含む。

学生数

学部

(平成26年5月1日現在)

学部名	入学定員			現員
計	3,255	[10]	<60>	15,524 (5,004)
文学部	165	—	—	756 (410)
人間科学部	137	—	<10>	631 (334)
外国語学部 ※	580	—	<10>	2,969 (1,871)
法学部	250	—	<10>	1,119 (393)
経済学部	220	—	<10>	1,038 (229)
理学部	255	—	—	1,198 (250)
医学部	260	[10]	<20>	1,365 (646)
歯学部	53	—	—	362 (161)
薬学部	80	—	—	406 (159)
工学部	820	—	—	3,724 (374)
基礎工学部	435	—	—	1,956 (177)

注：入学定員の[]は2年次編入学定員、< >は3年次編入学定員で外数
 ※外国語学部については、旧大阪外国語大学の課程に所属する学生を含む

学生の推移

学部



大学院

(平成26年5月1日現在)

研究科名	入学定員	現員	入学定員	現員
総計	博士前期、修士及び法科大学院の課程		博士後期及び博士課程	
	2,089	4,632 (1,136)	942	3,273 (1,027)
	博士課程(5年)			
	前期課程		後期課程	
文学研究科	75	164 (78)	41	202 (102)
人間科学研究科	89	208 (114)	42	191 (102)
法学研究科	35	92 (44)	12	47 (12)
経済学研究科	83	173 (77)	25	104 (26)
理学研究科	266	532 (109)	126	281 (52)
医学系研究科 ※1	65	160 (104)	23	88 (57)
薬学研究科 ※2	75	143 (41)	20	66 (10)
工学研究科	790	1,696 (181)	184	523 (76)
基礎工学研究科	267	573 (58)	70	146 (23)
言語文化研究科	67	185 (123)	28	142 (103)
国際公共政策研究科	35	95 (64)	21	72 (39)
情報科学研究科	123	283 (21)	43	124 (16)
言語社会研究科 ※3	-	-	-	2 (1)
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究所	-	-	15	53 (37) ※4
計	1,970	4,304 (1,014)	650	2,041 (656)
	修士課程(2年)			
文学研究科 ※5	19	42 (27)	-	-
計	19	42 (27)	-	-
	修士課程(2年)		博士課程(4年)	
医学系研究科	20	53 (28)	172	778 (217)
歯学研究科	-	-	55	173 (70)
薬学研究科	-	1 (0)	10	13 (3)
計	20	54 (28)	237	964 (290)
	博士課程(5年一貫制)			
生命機能研究科	-	-	55	268 (81)
計	-	-	55	268 (81)
	法科大学院の課程(3年)			
高等司法研究科	80	232 (67)	-	-
計	80	232 (67)	-	-

※1 医学系研究科(保健学専攻) ※2 薬学研究科(創成薬学専攻) ※3 旧大阪外国語大学
 ※4 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所含む ※5 文学研究科(文化動態論専攻)

大学院

(博士前期、修士及び法科大学院の課程)



大学院 (博士後期及び博士課程)



専修学校

(平成26年5月1日現在)

学校名	入学定員	現員
歯学部附属歯科技工士学校	20	41 (20)
計	20	41 (20)

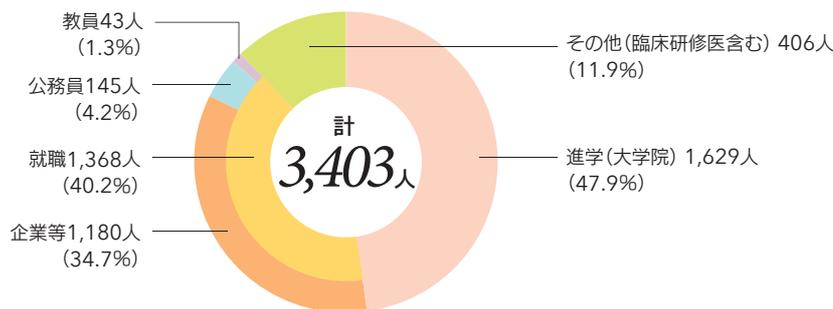
注：このページの現員の()内に女子を内数で示す。

学部 卒業生数 ・進路

(平成25年度)

学部名	区分	旧制	新制		平成25年度卒業生の卒業後の状況					
			平成25年度 卒業生	累計	進学 (大学院)	就職			その他 (臨床研修医を含む)	
						企業等	公務員	教員※2		
計		8,776	3,403	128,973	1,629	1,180	145	43	1,368	406
文学部		114	193	7,229	34	103	25	10	138	21
人間科学部		-	166	4,958	31	90	17	3	110	25
外国語学部※1		-	577	4,749	57	403	37	15	455	65
法学部		223	269	10,398	51	147	40	1	188	30
経済学部		233	239	11,920	23	175	11	1	187	29
理学部		1,119	248	11,105	192	31	2	7	40	16
医学部(医学科)	2,489		282	9,142	-	-	-	-	-	103
医学部(保健学科)					64	100	2	3	105	10
歯学部		-	54	3,119	-	-	-	-	-	54
薬学部		-	80	4,623	53	20	1	0	21	6
工学部		4,598	849	42,880	746	69	4	1	74	29
基礎工学部		-	446	18,850	378	42	6	2	50	18
歯学部附属歯科技工士学校			18	933	0	8	0	0	8	10

※1 夜間主コースを除く ※2 国公立・私立の学校教員



学位 授与者数

(平成25年度)

研究科名	区分	博士前期課程		博士後期課程					
		平成25年度	累計	平成25年度			累計		
				課程	論文	計	課程	論文	計
計		2,161	60,785	630	49	679	16,453	9,824	26,277
文学研究科		87	2,657	24	3	27	540	311	851
人間科学研究科		102	1,617	28	4	32	353	122	475
法学研究科		54	902	3	2	5	100	47	147
経済学研究科		90	1,516	15	0	15	277	128	405
理学研究科		262	8,649	55	1	56	2,531	816	3,347
医学系研究科		102	1,804	156	22	178	4,230	3,531	7,761
歯学研究科		-	-	41	0	41	1,014	363	1,377
薬学研究科		69	2,822	15	6	21	705	667	1,372
工学研究科		824	26,621	145	9	154	4,050	2,927	6,977
基礎工学研究科		291	10,320	53	2	55	1,648	843	2,491
言語文化研究科		65	808	21	0	21	207	19	226
国際公共政策研究科		32	688	9	0	9	168	30	198
情報科学研究科		132	1,544	31	0	31	336	20	356
生命機能研究科		51	645	23	0	23	209	0	209
言語社会研究科※		-	192	2	0	2	65	0	65
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学 連合小児発達学研究所		-	-	9	0	9	20	0	20

※旧大阪外国語大学の課程

(平成25年度)

研究科名	区分	法務博士(専門職)	
		平成25年度	累計
高等 司法 研究科		76	743

旧制学位授与者

学内総計	4,906
文学博士	23
法学博士	6
経済学博士	29
理学博士	621
医学博士	3,553
工学博士	674

国際交流

本学学生 海外 留学者数

地域	国・地域名	学部	大学院	計
アジア	インド	8	4	12
	インドネシア	8	11	19
	カンボジア	0	6	6
	シンガポール	2	13	15
	スリランカ	0	7	7
	タイ	18	56	74
	ネパール	0	1	1
	パキスタン	1	0	1
	バングラデシュ	4	2	6
	フィリピン	7	9	16
	ブルネイ・ダルサラーム	0	1	1
	ベトナム	18	11	29
	マレーシア	5	0	5
	ミャンマー	1	0	1
	モンゴル	1	3	4
	ラオス	0	5	5
	台湾	25	32	57
	大韓民国	27	27	54
	中華人民共和国	72	43	115
	アフリカ	エジプト	2	0
ケニア		2	2	4
ザンビア		0	3	3
タンザニア		5	2	7
モロッコ		1	0	1
南アフリカ		0	2	2
オセアニア	オーストラリア	78	20	98
	ニュージーランド	1	1	2
	パラオ	0	8	8
ヨーロッパ	アイルランド	1	0	1
	イギリス	66	49	115
	イタリア	11	11	22
	オーストリア	1	0	1
	オランダ	45	20	65
ギリシャ	0	1	1	

(平成25年度)

地域	国・地域名	学部	大学院	計
ヨーロッパ	グルジア	0	1	1
	コソボ	1	0	1
	スイス	0	16	16
	スウェーデン	7	8	15
	スペイン	12	6	18
	デンマーク	7	5	12
	ドイツ	26	47	73
	ハンガリー	5	1	6
	フィンランド	3	6	9
	フランス	14	39	53
	ポルトガル	1	0	1
	ベルギー	3	10	13
	ポーランド	0	1	1
	バルトガル	6	1	7
マケドニア	1	0	1	
マルタ	1	0	1	
ロシア	13	0	13	
中近東	アラブ首長国連邦	1	0	1
	イスラエル	0	1	1
	イラン	8	0	8
	クウェート	1	0	1
	トルコ	5	0	5
	パレスチナ	0	1	1
ヨルダン	0	1	1	
中南米	アルゼンチン	1	0	1
	ニカラグア	1	0	1
	ブラジル	11	0	11
	ペルー	2	0	2
メキシコ	4	0	4	
北米	アメリカ合衆国	82	155	237
	カナダ	27	13	40
その他	不明	5	2	7
総計		658	664	1,322

外国人 留学生数 推移

過去10年間の外国人留学生受入数の推移



全学生数に占める留学生数割合(課程別)



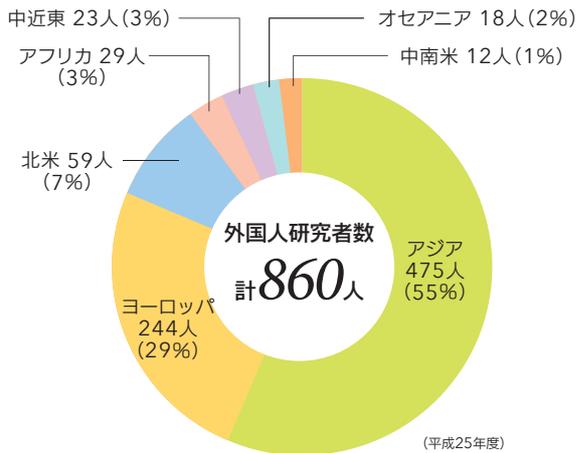
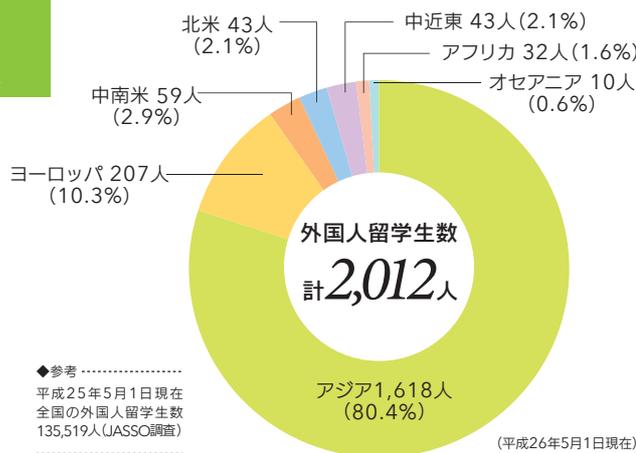
課程別・経費別 (平成26年5月1日現在)

経費		国費	私費	計
学部		80	256	336
大学院	修士	102	437	539
	博士	227	361	588
	計	329	798	1,127
研究生等		179	370	549
総計		588 (279)	1,424 (722)	2,012 (1,001)

※()内は女子で内数

国・地域別
留学生・
研究者
受入数

地域別人数と割合



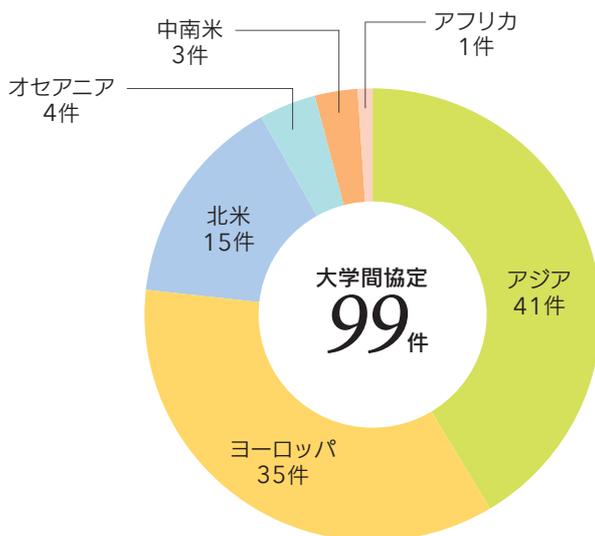
国・地域別

地域	国・地域名	留学生数	研究者数
アジア	インド	31	43
	インドネシア	89	30
	カンボジア	3	-
	シンガポール	12	2
	スリランカ	9	-
	タイ	118	18
	ネパール	4	1
	パキスタン	-	4
	バングラデシュ	17	11
	フィリピン	27	20
	ベトナム	83	29
	マレーシア	65	9
	ミャンマー	9	2
	モンゴル	29	2
	ラオス	4	-
	香港	10	-
	台湾	80	33
	大韓民国	272	79
	中華人民共和国	755	188
	北朝鮮	-	4
東ティモール	1	-	
アジア計	1,618	475	
アフリカ	アルジェリア	1	-
	アンゴラ	1	-
	ウガンダ	1	-
	エジプト	7	18
	エチオピア	1	-
	エリトリア	1	-
	カメルーン	1	-
	コートジボワール	2	-
	コンゴ共和国	-	2
	ザンビア	1	-
	ジンバブエ	1	-
	スーダン	5	1
	セネガル	1	-
	タンザニア	-	1
	モザンビーク	1	-
	南スーダン	1	-
	チュニジア	2	3
	ナイジェリア	2	1
	マダガスカル	2	-
	マラウイ	-	1
モロッコ	1	1	
リビア	-	1	
アフリカ計	32	29	
オセアニア	オーストラリア	3	11
	ソロモン諸島	1	-
	ニュージーランド	4	6
	バプア・ニューギニア	1	1
	フィジー	1	-
オセアニア計	10	18	
ヨーロッパ	アイスランド	1	-
	アイルランド	1	3
	イギリス	8	41
	イタリア	3	17
	ウクライナ	3	5
	ウズベキスタン	4	-
	オーストリア	3	3
	オランダ	7	14
	カザフスタン	2	1
	キプロス	1	-
ギリシャ	4	-	

地域	国・地域名	留学生数	研究者数
ヨーロッパ	キルギス	1	-
	クロアチア	2	3
	スイス	3	7
	スウェーデン	8	3
	スペイン	4	8
	スロバキア	3	1
	スロベニア	1	4
	セルビア	1	1
	タジキスタン	1	-
	チェコ	2	3
	デンマーク	1	6
	ドイツ	35	36
	ノルウェー	1	1
	ハンガリー	9	12
	フィンランド	4	1
	フランス	19	34
	ブルガリア	14	-
	ペルーシ	2	1
	ベルギー	3	3
	ポーランド	8	8
ボスニア・ヘルツェゴビナ	1	-	
ポルトガル	2	2	
マケドニア	1	-	
ラトビア	3	2	
リトアニア	5	1	
ルーマニア	6	6	
ロシア	30	17	
ヨーロッパ計	207	244	
中近東	アフガニスタン	1	-
	イエメン	2	-
	イスラエル	5	-
	イラン	12	9
	オマーン	1	-
	サウジアラビア	4	1
	シリア	1	-
	トルコ	13	11
	バーレーン	-	1
	パレスチナ	1	-
中近東計	43	23	
中南米	アルゼンチン	2	-
	エルサルバドル	1	-
	グアテマラ	2	-
	コスタリカ	1	-
	コロンビア	2	1
	チリ	-	1
	ハイチ	1	-
	パナマ	4	2
	ブラジル	27	3
	ベネズエラ	1	1
ペルー	1	-	
メキシコ	9	3	
中南米計	59	12	
北米	アメリカ合衆国	34	47
	カナダ	9	12
北米計	43	59	
総計		2012	860

大学間 学術交流 協定状況

交流協定締結先大学・機関等の情報はホームページを参照ください。
<http://www.osaka-u.ac.jp>



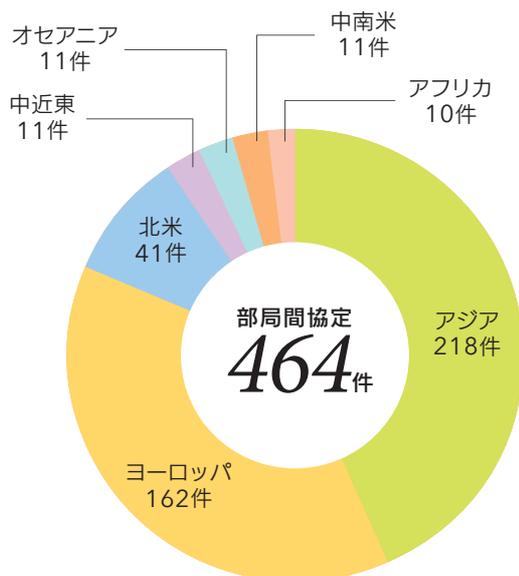
国・地域別

(平成26年5月1日現在)

地域	国・地域名	協定大学名	合計			
アジア	インド	インド工科大学ハイデラバード校	1			
	インドネシア	ガジャマダ大学 バンドン工科大学	2			
	大韓民国	漢陽大学校 慶尚大学校 昌原大学校 ソウル大学校 中央大学校 忠南大学校 延世大学校 釜山大学校 全南大学校	9			
		タイ	カセサート大学 タイ王国保健省医科学局 タマサート大学 チェンマイ大学 チュロンコン大学 マヒドン大学 モンクット王トンプリ工科大学	7		
			台湾	国立交通大学 国立清華大学 国立成功大学 国立台湾大学 清華大学	4	
				中華人民共和国	同済大学 南京大学 北京師範大学 香港中文大学 上海交通大学 西安交通大学 武漢大学 復旦大学 北京大学 浙江大學	11
					フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学 デ・ラ・サール大学 フィリピン国立大学
		ベトナム				ハノイ国家大学 ベトナム科学技術アカデミー ホーチミン市国家大学
		モンゴル	モンゴル国立大学		1	
		アジア計			41	
	アフリカ	エジプト	アレキサンドリア大学		1	
		アフリカ計			1	
	オセアニア	オーストラリア	アデレード大学 オーストラリア国立大学 クィーンズランド大学 モナシュ大学		4	
		オセアニア計		4		
		中南米	ブラジル	サンパウロ大学	1	
			ペルー	ローマ教皇庁立ペルー・カトリック大学	1	
	メキシコ		メキシコ国立自治大学	1		
	中南米計		3			

地域	国・地域名	協定大学名	合計			
ヨーロッパ	イギリス	シェフィールド大学 ノッティンガム大学 ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	4			
		オーストリア	ウィーン大学	1		
		オランダ	グローニンゲン大学 デルフト工科大学	2		
	スイス	スイス連邦工科大学ローザンヌ校	1			
	スウェーデン	イエテボリ大学 カロリンスカ大学	3			
		スペイン	スウェーデン王立工科大学 バリャドリッド大学	2		
	デンマーク	マドリッドアウトノマ大学 コペンハーゲン大学 アーヘン工科大学	1			
	ドイツ	アウクスブルク大学 エアランゲン・ニルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学 ゲッティンゲン大学 ハイデルベルク大学 ビーレフェルト大学 ミュンヘンルートヴィヒ・マクシミリアン大学 ミュンヘン工科大学	10			
		ハンガリー	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン ルール・ボーフム大学	1		
		フィンランド	エトヴェシユ・ロラント大学 オーボアカデミー大学	1		
		フランス	グルノーブル大学連合 ストラスブール大学 パリ国立高等化学学院 ピエール・マリイ・キュリー大学 フランス国立科学研究センター ボルドー大学	6		
			ベルギー	Interuniversitair Micro-Electronica Centrum vzw (IMEC) ルーヴァンカトリック大学(UCL)	2	
			ロシア	サンクトペテルブルク大学	1	
		ヨーロッパ計		35		
		北米	カナダ	トロント大学 ケベック州大学学長協議会 プリティッシュ・コロンビア大学 マギル大学 マックマスター大学	5	
				アメリカ合衆国	インディアナ大学 ジョージア大学 パデュー大学 ライス大学 ウエズリアンカレッジ カリフォルニア大学 コーネル大学 テキサスA&M大学 ナザレスカレッジローチェスター校 ワシントン大学	10
					北米計	
	総計				99	

部局間
学術交流
協定状況



部局別・地域別

(平成26年5月1日現在)

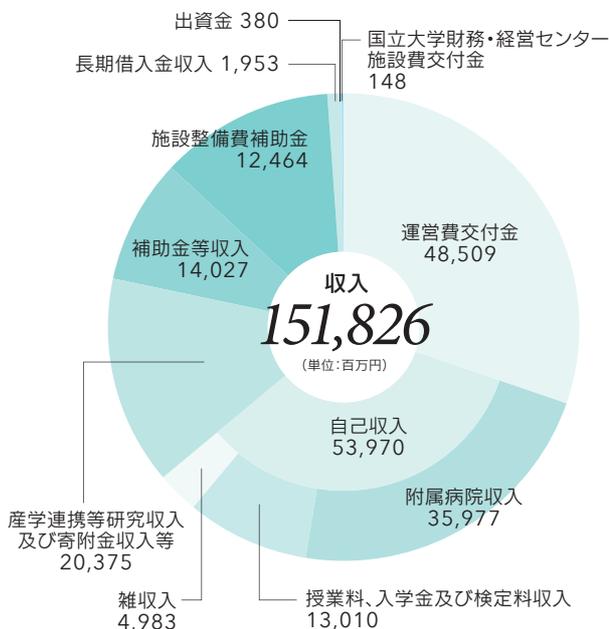
部局名	アジア	中近東	アフリカ	オセアニア	北米	中南米	ヨーロッパ	合計
文学研究科・文学部	2	0	0	0	0	0	11	13
人間科学研究科・人間科学部	0	0	0	0	1	0	3	4
外国語学部	17	7	0	1	1	1	17	44
法学研究科・法学部	16	0	0	1	1	3	5	26
経済学研究科・経済学部	2	0	0	0	3	0	3	8
理学研究科・理学部	12	1	0	0	3	0	13	29
医学系研究科・医学部	16	0	0	0	2	1	4	23
歯学研究科・歯学部	5	1	0	0	4	1	4	15
薬学研究科・薬学部	0	0	0	0	2	0	0	2
工学研究科・工学部	41	0	1	2	4	1	26	75
基礎工学研究科・基礎工学部	11	0	0	1	7	1	18	38
言語文化研究科	17	6	0	1	2	1	28	55
国際公共政策研究科	10	1	2	0	1	0	1	15
情報科学研究科	8	0	0	1	2	0	1	12
生命機能研究科	2	0	0	0	0	1	4	7
高等司法研究科	8	0	0	1	0	2	4	15
微生物病研究所	4	0	2	0	0	0	0	6
産業科学研究所	13	0	1	0	1	0	6	21
蛋白質研究所	4	0	0	0	0	1	1	6
社会経済研究所	3	0	0	0	1	0	1	5
接合科学研究所	28	1	1	1	1	1	11	44
超高压電子顕微鏡センター	0	0	0	0	1	0	0	1
生物工学国際交流センター	5	0	0	0	0	0	0	5
太陽エネルギー化学研究センター	3	0	0	0	0	0	1	4
臨床医工学融合研究教育センター	0	0	0	1	0	0	4	5
コミュニケーションデザイン・センター	0	0	0	0	0	0	1	1
グローバルコラボレーションセンター	5	0	0	1	0	0	1	7
日本語日本文化教育センター	0	0	0	1	1	1	12	15
核物理研究センター	6	0	1	0	1	0	8	16
サイバーメディアセンター	2	0	0	1	2	0	1	6
レーザーエネルギー学研究センター	15	0	0	0	7	0	9	31
免疫学フロンティア研究センター	3	0	0	1	1	0	0	5
安全衛生管理部	1	0	0	0	0	0	0	1
総合学術博物館	1	0	0	0	0	0	0	1

予算

収入

(平成26年度/単位:百万円)

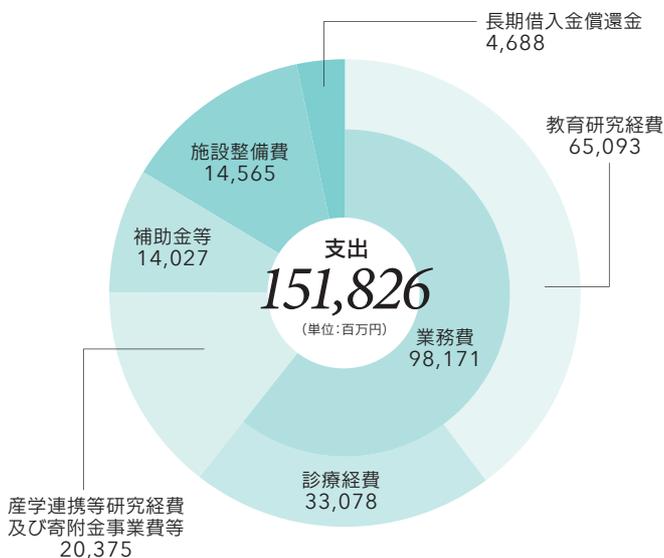
区 分	金 額
計	151,826
運営費交付金	48,509
施設整備費補助金	12,464
船舶建造費補助金	0
施設整備資金貸付金償還時補助金	0
補助金等収入	14,027
国立大学財務・経営センター施設費交付金	148
自己収入	53,970
授業料、入学金及び検定料収入	13,010
附属病院収入	35,977
財産処分収入	0
雑収入	4,983
小 計	53,970
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	20,375
引当金取崩	0
長期借入金収入	1,953
貸付回収金	0
承継剰余金	0
旧法人承継積立金	0
目的積立金取崩	0
出資金	380



支出

(平成26年度/単位:百万円)

区 分	金 額
計	151,826
業務費	98,171
教育研究経費	65,093
診療経費	33,078
小 計	98,171
施設整備費	14,565
船舶建造費	0
補助金等	14,027
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	20,375
貸付金	0
長期借入金償還金	4,688



予算、運営費交付金の推移



外部資金等

科学研究費助成事業

(平成25年度/単位:千円)

研究種目	採択件数	交付金額
計	3,094	12,437,005
特別推進研究	5	703,240
特定領域研究	1	2,952
新学術領域研究(領域提案型)	209	2,578,680
基盤研究 (S)	36	1,462,890
基盤研究 (A)	141	1,749,140
基盤研究 (B)	387	2,011,620
基盤研究 (C)	701	1,103,115
挑戦的萌芽研究	459	742,560
若手研究 (S)	3	46,020
若手研究 (A)	97	655,078
若手研究 (B)	549	884,390
研究活動スタート支援	71	100,820
特別研究員奨励費	435	396,500

外部資金

(平成25年度/単位:千円)

区分	件数	金額	
計	27,310	19,631,792	
共同研究	961	3,223,943	
受託研究等	1,258	10,969,788	
内訳	受託研究	757	10,509,540
	医薬品等の臨床研究	487	451,311
	受託試験等	0	0
	病理組織検査等	14	8,937
奨学寄附金等	25,091	5,438,061	
内訳	奨学寄附金	4,975	5,004,954
	その他の寄附(備品等)	20,116	433,107

部局別特許件数

(平成26年3月末現在)

部局名	国内	国外	計
計	688 (391)	367 (244)	1,055 (635)
理学研究科・理学部	35 (16)	9 (5)	44 (21)
医学系研究科・医学部	55 (30)	59 (45)	114 (75)
医学部附属病院	5 (5)	1 (1)	6 (6)
歯学研究科・歯学部	9 (7)	12 (11)	21 (18)
歯学部附属病院	1 (1)		1 (1)
薬学研究科・薬学部	16 (8)	23 (16)	39 (24)
工学研究科・工学部	295 (153)	113 (75)	408 (228)
基礎工学研究科・基礎工学部	53 (20)	12 (8)	65 (28)
情報科学研究科	45 (41)	4 (2)	49 (43)
生命機能研究科	1		1 (0)
微生物病研究所	19 (10)	33 (18)	52 (28)
産業科学研究所	50 (24)	51 (34)	101 (58)
接合科学研究所	39 (30)	21 (11)	60 (41)
蛋白質研究所	2 (1)	1	3 (1)
超高压電子顕微鏡センター	1	1	2 (0)
太陽エネルギー化学研究センター	7 (4)		7 (4)
グローバルコラボレーションセンター	1 (1)	1 (1)	2 (2)
核物理研究センター	2 (1)		2 (1)
サイバーメディアセンター	2 (2)		2 (2)
レーザーエネルギー学研究センター	22 (17)	16 (9)	38 (26)
生物工学国際交流センター	1 (1)		1 (1)
安全衛生管理部	1 (1)		1 (1)
産学連携本部	25 (17)	10 (8)	35 (25)
本部事務機構	1 (1)		1 (1)

※()内は、共有特許件数で内数

厚生労働科学研究費

●一般公募課題

(平成25年度/単位:千円)

分野名	採択件数	交付金額
計	57	1,863,987
行政政策研究分野	3	24,958
厚生科学基盤研究分野	17	348,246
疾病・障害対策研究分野	27	925,113
健康安全確保総合研究分野	2	39,500
健康長寿社会実現のための ライフ・イノベーションプロジェクト	8	526,170

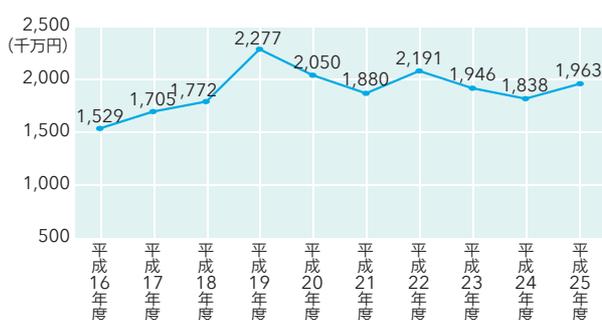
●戦略研究

分野名	採択件数	交付金額
計	1	63,634
疾病・障害対策研究分野 「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」	1	63,634

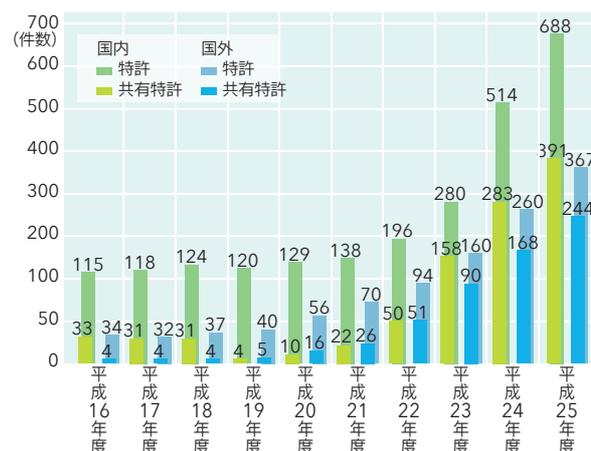
過去10年間における科学研究費助成事業の採択の推移



過去10年間における外部資金の受入れの推移



過去10年間における特許件数の推移



教育・研究 プログラム

世界トップレベル研究拠点プログラム(WPIプログラム) … 平成19年度採択

高いレベルの研究者を中核とした「世界トップレベル研究拠点」の形成を目指す構想に対して集中的な支援を行うことにより、システム改革の導入等の自主的な取組を促し、世界から第一線の研究者が集まる、優れた研究環境と極めて高い研究水準を誇る「目に見える拠点」の形成を目指しています。

拠点名称	拠点構想の概要	拠点リーダー
免疫学 フロンティア 研究センター	世界トップクラスの研究者を中核とし、免疫学とイメージング技術・バイオインフォマティクスの最先端レベルの研究を融合的に進めることによって、生体内における免疫細胞の活性化、相互作用(免疫系のダイナミクス)を理解し、新しい戦略に基づいた感染症ワクチンの開発や、様々な感染症や癌に対する免疫療法のコンセプト創出、自己免疫疾患の治療法の開発を目指す。	審良 静男 免疫学フロンティア 研究センター拠点長・ 教授

研究大学強化促進事業 … 平成25年度採択

世界水準の優れた研究活動を行う大学群を増強し、我が国全体の研究力の強化を図るため、大学等による、研究マネジメント人材群の確保や集中的な研究環境改革等の研究力強化を目的としています。

補助事業の名称	事業の概要	統括責任者	実施責任者
研究大学 強化促進事業	大阪大学の研究の国際競争力強化のための「国際共同研究室(国際ジョイントラボ)」の設立や国際合同会議(シンポジウム)の開催支援、基礎研究の推進や国家的課題解決に向けた研究分野の創出を目的とした「未来研究イニシアティブ・グループ」の支援、若手研究者の国際的情報発信力強化のための支援、外国人研究者や女性研究者のための環境整備、研究マネジメント人材としてのURA(リサーチ・アドミニストレーター)の活用など	総長 平野俊夫	基盤研究担当理事 相本三郎

革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM) … 平成25年度採択

拠点名称	拠点構想の概要	拠点リーダー
大阪大学COI拠点 「人間力活性化による スーパー日本人の育成 と産業競争力の増進/ 豊かな社会の構築」	現在潜在している将来社会のニーズから導き出されるあるべき社会の姿、暮らしのあり方を設定し、このビジョンを基に10年後を見通した革新的な研究開発課題を特定した上で、既存分野・組織の壁を取り払い、基礎研究段階から実用化を目指した産学連携による研究開発を集中的に支援する。本事業では、企業や大学だけでは実現できない革新的なイノベーションを産学連携で実現するとともに、革新的なイノベーションを創出するイノベーションプラットフォームを我が国に整備することを旨とする。	プロジェクトリーダー パナソニック㈱ 上野山 雄 フェロー 研究リーダー 産業科学研究所 松本 和彦 教授

戦略的創造研究推進事業

我が国が直面する重要な課題の達成に向けた基礎研究を推進し、社会・経済の変革をもたらす科学技術イノベーションを生み出す、新たな科学知識に基づく創造的な革新的技術のシーズを創出することを目的としています。

先端的低炭素化技術開発事業(ALCA)

採択年度	採択件数
平成25年度	1件

新技術シーズ創出

(平成26年5月1日現在)

プログラム名	実施件数
CREST (チーム型研究)	66件
さきがけ (個人型研究)	15件
ERATO (総括実施型)	2件

リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備 … 平成24年度採択

大学等が研究開発に知見のある人材をリサーチ・アドミニストレーター(※)として活用・育成するとともに、専門性の高い職種として定着を図ることをもって、大学等における研究推進体制の充実強化に資することを目的としています。

(※)大学等において、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行うことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材を指します。

補助事業の名称	事業担当者	事業タイプ
リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備	池田 雅夫 大型教育研究プロジェクト支援室 統括マネージャー	世界的研究拠点整備

科学技術戦略推進費補助金等

科学技術戦略推進費補助金

(平成26年5月1日現在)

プログラム名称	課題名	実施部局
健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム	免疫難病治療のための次世代型抗体医薬開発	免疫学フロンティア研究センター、 医学系研究科、医学系研究科保健学専攻
健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム	患者別に機能発現する階層構造インプラント	医学系研究科、工学研究科
安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム	人物映像解析による犯罪捜査支援システム	産業科学研究所
安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム	可搬型生物剤・化学剤検知用バイオセンサの開発	工学研究科
途上国におけるイノベーションを促進する国際協力の戦略的推進	ウガンダにおけるマラリアワクチンの臨床研究拠点形成	微生物病研究所

科学技術人材育成費補助金

(平成26年5月1日現在)

プログラム名称	課題名	実施部局
テニユアトラック普及・定着事業	-	工学研究科、薬学研究科

地域産学官連携科学技術振興事業費補助金

(平成26年5月1日現在)

プログラム名称	課題名	実施部局
<イノベーションシステム整備事業> 先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム	フォトニクス先端融合研究拠点	工学研究科

国立大学改革強化推進補助金 … 平成24年度採択

国際的な知の競争が激化する中で、大学の枠を超えた連携の推進や個性・特色の明確化などを通じた国立大学の改革強化を推進することを目的としています。

事業名	取組内容
研究型大学のガバナンス改革実行プラン～「大学の中の大学」構想～	本学の学部・大学院・研究所等の専門性を活かしつつ大学の総合力を発揮するために、大阪大学の中に「未来戦略機構(Institute for Academic Initiatives)」を設置し、「大学の中の大学」と位置付け、大学全体で取り組むべき横断的な教育・研究を機動的にマネジメントし、総長のリーダーシップを発揮しやすい環境を整備することにより、大学全体のガバナンスの強化を効率的に行うことを目指す。

博士課程教育リーディングプログラム

優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進することを目的としています。

●平成23年度採択

プログラム名称	プログラムコーディネーター	参画研究科(プログラムの主たる専攻等)	類型(テーマ)
超域イノベーション博士課程プログラム	工学研究科 藤田 喜久雄 教授	文学研究科(文化形態論専攻、文化表現論専攻)、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科(医学専攻、保健学専攻)、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、生命機能研究科	オールラウンド型
生体統御ネットワーク医学教育プログラム	医学系研究科 竹田 潔 教授	理学研究科(生物科学専攻)、医学系研究科(医学専攻、医科学専攻、保健学専攻)、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科(生命先端工学専攻、応用化学専攻、環境・エネルギー工学専攻、ビジネスエンジニアリング専攻)、生命機能研究科	複合領域型(生命健康)

●平成24年度採択

プログラム名称	プログラムコーディネーター	参画研究科(プログラムの主たる専攻等)	類型(テーマ)
インタラクティブ物質科学・カデットプログラム	基礎工学研究科 木村 剛 教授	理学研究科(物理学専攻、化学専攻、高分子科学専攻)、工学研究科(生命先端工学専攻、応用化学専攻、精密科学・応用物理学専攻、マテリアル生産科学専攻)、基礎工学研究科(物質創成専攻、システム創成専攻)	複合領域型(物質)
ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム	情報科学研究科 西尾 章治郎 教授	基礎工学研究科(機能創成専攻、システム創成専攻)、情報科学研究科(情報数理学専攻、コンピュータサイエンス専攻、情報システム工学専攻、情報ネットワーク学専攻、マルチメディア工学専攻、バイオ情報工学専攻)、生命機能研究科	複合領域型(情報)
未来共生イノベーター博士課程プログラム	人間科学研究科 志水 宏吉 教授	文学研究科(文化形態論専攻、文化表現論専攻)、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、医学系研究科(医学専攻、保健学専攻)、工学研究科(地球総合工学専攻、ビジネスエンジニアリング専攻)、言語文化研究科、国際公共政策研究科	複合領域型(多文化共生社会)

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

手術療法、放射線療法、化学療法その他のがん医療に携わることがん専門医療人を養成する大学の取組を支援することを目的としています。

取組名称	大学名(◎:主幹校)	採択
地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成	◎大阪大学(医学系研究科)、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、兵庫県立大学、和歌山県立医科大学、大阪薬科大学、神戸薬科大学	平成24年度

大学間連携共同教育推進事業

国公立の設置形態を超え、地域や分野に応じて大学間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行う取組の中から、優れた取組を選定し、重点的な財政支援を行うことにより、教育の質の保証と向上、強みを活かした機能別分化を推進することを目的としています。

取組名称	連携大学等名(◎:代表校)	採択
データに基づく課題解決型人材教育に関する統計教育質保証	【大学】 東京大学、大阪大学(※)、総合研究大学院大学、◎青山学院大学、多摩大学、立教大学、早稲田大学、同志社大学 【連携機関】 (学会)応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会 (団体)大学入試センター、日本アクチュアリー会、日本科学技術連盟、日本銀行、日本経済団体連合会、日本製薬工業協会、日本統計協会、日本マーケティング・リサーチ協会	平成24年度

※人間科学部・人間科学研究科、経済学部・経済学研究科、基礎工学部・基礎工学研究科、全学教育推進機構、金融・保険教育研究センター

情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業

情報技術を活用して社会の具体的な課題を解決できる人材を育成するため、複数の大学と産業界による全国的なネットワークを形成し、実際の課題に基づく課題解決型学習等の実践的な教育を実施・普及することを目的としています。

取組名称	連携大学名(◎:代表校)	採択
分野・地域を越えた実践的情報教育協働NW	◎大阪大学(情報科学研究科)、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、神戸大学、九州大学、九州工業大学、北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学、公立はこだて未来大学、産業技術大学院大学、慶應義塾大学、情報セキュリティ大学院大学	平成24年度

未来医療研究人材養成拠点形成事業

急速に進展する高齢化等に伴う医療課題の解決に貢献し、国内外の医学・医療の発展を強力に推進するため、下記のテーマA・テーマBについて、新規性・独創性の高い特色ある取組にチャレンジする大学の事業を支援することを目的としています。

【テーマA】メディカル・イノベーション推進人材の養成 【テーマB】リサーチマインドを持った総合診療医の養成

事業名称	事業推進者	採択
テーマA 国際・未来医療のための人材養成拠点創生	医学系研究科 金田 安史 教授	平成25年度
テーマB 地域に生き世界に伸びる総合診療医養成事業 ～超高齢社会を切り拓くリーダー型高度医療人養成～	医学部附属病院 卒後教育開発センター 柴木 宏実 教授	平成25年度

大学を活用した文化芸術推進事業

我が国の文化芸術の振興を図るため、芸術系大学等の有する教員、教育研究機能、施設・資料等の資源の積極的な活用を図ることを目的としています。

事業名称	事業推進者	採択
劇場・音楽堂・美術館等と連携するアート・フェスティバル人材育成事業 －〈声なき声、いたるところにかかわりの声、そして私の声〉芸術祭－	文学研究科 永田 靖 教授	平成25年度

大学の世界展開力強化事業 … 平成23年度採択

研究課題名	代表者	本学及び国内の協力機関	交流相手国・機関
「アジア平和＝人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーの育成	国際公共政策研究科 松野 明久 教授	広島大学 長崎大学 名城大学	シンガポール・ナンヤン工科大学／フィリピン・デラサール大学／東ティモール・国立東ティモール大学／インドネシア・シアークアラ大学／コスタリカ・国連平和大学／カンボジア・バンナストラ大学／タイ・チェンマイ大学

独立行政法人日本学術振興会国際交流事業

(平成26年度5月1日現在)

事業名	採択件数
先端研究拠点事業国際戦略型	1件
アジア研究教育拠点事業	2件
日独共同大学院プログラム	1件
国際化学研究協力事業	1件
研究拠点形成事業 A.先端拠点形成型	4件
国際共同研究教育パートナーシッププログラム	1件
災害からの回復力強化等に関する領域横断的研究協力事業	1件
頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム	4件

独立行政法人国際協力機構(JICA)事業

(平成26年度5月1日現在)

事業名	採択件数
地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)	1件

産学共同の研究開発による実用化促進(大学に対する出資事業)

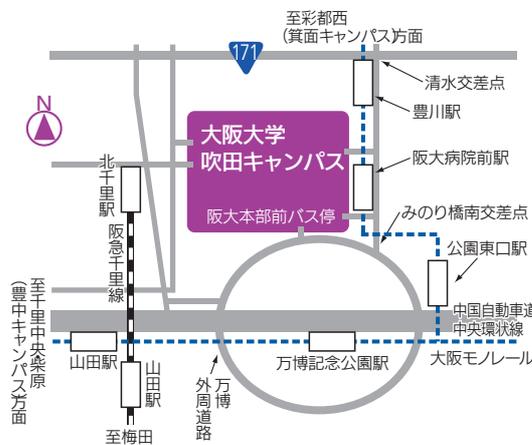
本事業は、成長による富の創出のため、大学や法人による、研究開発成果の事業化・実用化に向けた官民共同の研究開発を推進することを目的としています。平成25年3月、大阪大学は、本事業において国からの出資対象となる4大学の一つとして選定されました。これを受けて、出資事業に関する事項について審議、決定する「共同研究・事業化委員会」等を設置し、平成25年度より事業化推進型共同研究の学内公募を開始しました。本事業の推進を通じて大学内に産業創出拠点を導く「Industry on Campus」構想を幅広く展開することにより、研究成果の事業化、実用化による新たな社会的価値の創出に取り組みます。

キャンパス アクセス

吹田 キャンパス



- ① 本部事務機構
- ② 産学連携本部(テクノアライアンス棟)
- ③ 産学連携本部(A棟～D棟)
- ④ 人間科学研究科・人間科学部
- ⑤ 医学系研究科・医学部(医学科)
- ⑥ 医学系研究科・医学部(保健学科)
- ⑦ 医学部附属病院
- ⑧ 歯学研究科・歯学部・同附属病院
- ⑨ 薬学研究科・薬学部
- ⑩ 工学研究科・工学部
- ⑪ 生命機能研究科
- ⑫ 情報科学研究科
- ⑬ 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所
- ⑭ 微生物病研究所
- ⑮ 蛋白質研究所
- ⑯ 低温センター
- ⑰ ラジオアイソトープ総合センター
- ⑱ 環境安全研究管理センター
- ⑲ 国際教育交流センター
- ⑳ 生物工学国際交流センター
- ㉑ 臨床医工学融合研究教育センター
- ㉒ グローバルコラボレーションセンター
- ㉓ 環境イノベーションデザインセンター
- ㉔ レーザーエネルギー学研究センター
- ㉕ 免疫学フロンティア研究センター
- ㉖ 産業科学研究研究所
- ㉗ 社会経済研究所
- ㉘ 接合科学研究所
- ㉙ 超高压電子顕微鏡センター
- ㉚ サイバーメディアセンター
- ㉛ 核物理研究センター
- ㉜ 大阪大学・情報通信研究機構
- ㉝ 脳情報通信融合研究センター



アクセス

◆ 最寄駅

- ① 阪急電車千里線北千里駅下車、東へ徒歩約20分
- ② 大阪モノレール阪大病院前駅下車
- ③ 地下鉄御堂筋線千里中央駅発、阪急バス「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」乗車、阪大本部前下車
- ④ 阪急電車京都市線茨木市駅発、近鉄バス「阪大本部前行」乗車、阪大本部前下車
- ⑤ JR東海道線茨木駅発、近鉄バス「阪大本部前行」乗車、阪大本部前下車
- ⑥ 阪急電車千里線北千里駅発、阪急バス「阪大医学部病院前行」乗車、阪大本部前下車

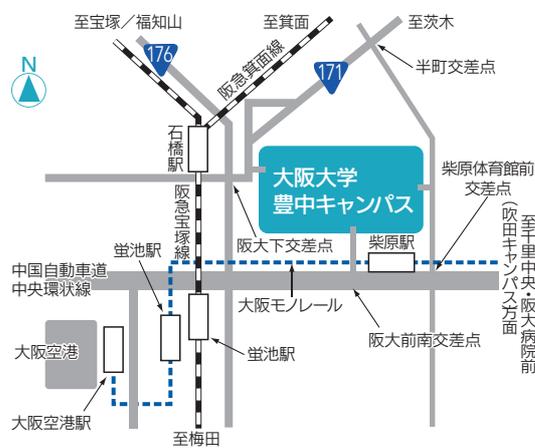
TEL 06-6877-5111 (代表)
06-6879-5111 (代表)

医学系研究科・医学部・同附属病院
歯学研究科・歯学部・同附属病院



豊中
キャンパス

- ① 附属図書館
- ② 文学研究科・文学部
- ③ 法学研究科・法学部
- ④ 経済学研究科・経済学部
- ⑤ 理学研究科・理学部
- ⑥ 基礎工学研究科・基礎工学部
- ⑦ 言語文化研究科
- ⑧ 国際公共政策研究科
- ⑨ 高等司法研究科
- ⑩ 太陽エネルギー化学研究センター
- ⑪ 総合学術博物館
- ⑫ 総合教育推進機構
- ⑬ 保健センター
- ⑭ コミュニケーションデザイン・センター
- ⑮ 金融・保険教育研究センター
- ⑯ 科学機器リノベーション・工作支援センター
- ⑰ ナノサイエンスデザイン教育研究センター
- ⑱ 知的財産センター
- ⑲ 21世紀懐徳堂
- ⑳ 適塾記念センター



アクセス

◆ 最寄駅

- ① 阪急電車宝塚線石橋駅下車、東へ徒歩約15分
- ② 大阪モノレール柴原駅下車、西へ徒歩約10分

TEL 06-6850-6111 (代表)

箕面 キャンパス



- ① 外国語学部・言語文化研究科
(言語社会専攻/日本語・日本文化専攻)
- ② 日本語日本文化教育センター
- ③ アーカイブズ



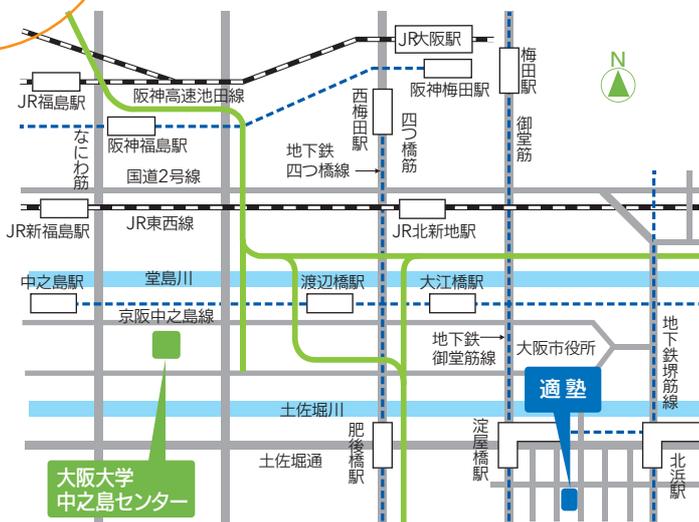
アクセス

◆ 最寄駅

- ① 大阪モノレール彩都西駅下車、西へ徒歩約15分
- ② 阪急電車千里線北千里駅発、阪急バス「阪大外国語学部前行」乗車、阪大外国語学部前下車または「間谷住宅行」乗車、間谷住宅4下車
- ③ 地下鉄御堂筋線千里中央駅発、阪急バス「阪大外国語学部前行」乗車、阪大外国語学部前下車または「間谷住宅行」乗車、間谷住宅4下車

TEL 072-730-5111(代表)

中之島 キャンパス ・ 適塾



中之島センター アクセス

◆ 最寄駅

- ① 京阪中之島線中之島駅下車、徒歩約5分
- ② 阪神本線福島駅下車、徒歩約9分
- ③ JR東西線新福島駅下車、徒歩約9分
- ④ JR環状線福島駅下車、徒歩約12分
- ⑤ 地下鉄四つ橋線肥後橋駅下車、徒歩約10分
- ⑥ 地下鉄御堂筋線淀屋橋駅下車、徒歩約16分

TEL 06-6444-2100(代表)

適塾 アクセス

◆ 最寄駅

- ① 京阪電車・地下鉄堺筋線北浜駅下車 徒歩約5分
- ② 京阪電車・地下鉄御堂筋線淀屋橋駅下車 徒歩約5分

<http://www.tekijuku.osaka-u.ac.jp/access/access/>

TEL 06-6231-1970

広域
マップ



東京
オフィス



アクセス

◆最寄駅

- ①東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅下車
7号出口から北へ徒歩1分
- ②東京メトロ千代田線・日比谷線・
丸の内線「霞ヶ関」駅下車
A12号出口から南へ徒歩3分

TEL 03-6205-7741

22世紀に輝く



調和ある多様性の創造



大阪大学

平成26年7月発行

大阪大学 広報・社会学連携オフィス

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1

Tel 06-6877-5111

学章について



制作者：田中一光 (たなか いっこう)

制作意図：60年の伝統を持つ銀杏をモチーフに、3つの円弧による造型のなかに「OSAKA」のOをしのばせ、歴史ある大学としての知性と格調を失うことなく、大学、学生、市民への連なる親近感を表現した。

この学章は、大阪大学創立60周年(平成3年)を記念して制定されました。